

主要事業一覧

〈知事戦略部関係〉

単位:千円

事業名	金額	説明
(新規) (仮称) デジタルクリエイティブスクール構想検討	68,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中高生が対象であるtsukurun、TUMO Gunmaに続く、大学生世代以上を対象としたデジタルクリエイティブ人材育成機関の開設に向けた構想を策定。 ・ 調査等委託及び構想検討委員会 38,000千円 ・ パイロット事業（ワークショップ開催等） 30,000千円
戦略企画課		
湯けむりフォーラム	83,500	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外のトップリーダーや有識者がリアルに集い、講演やトークセッション等で熱い議論や交流を交わすこととし、地域社会だからこそ生み出せる新たなアイデアやイノベーションを「群馬モデル」として創り出し、群馬県から全国・世界に向けて発信する唯一無二のカンファレンスイベントを開催。 ・ 会場設営、宿泊調整等業務委託 40,000千円 ・ コンテンツ企画運営業務委託 5,000千円 ・ クリエイティブ企画業務委託 13,000千円 ・ 通訳・翻訳業務委託 10,000千円 ・ 広報業務委託 3,000千円 ・ 輸送業務委託 3,000千円 ・ エンターテイメント企画実行委員会負担金 6,000千円 ・ 事務費 3,500千円
戦略企画課		
(新規) 県広報番組	180,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県の施策や魅力を発信するため、県広報番組を制作しテレビ放送するとともに、見逃し配信サービスやYouTubeチャンネル「tsulunos」を活用し全国へ配信。
メディアプロモーション課		
(新規) バーチャルプロダクション (地域素材開発)	50,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本県の魅力的な撮影スポットのうち、特に映像素材として需要が高い場所を、新しい映像技術であるバーチャルプロダクション映像用※として撮影し、在京メディアや映画制作会社に対して提供。群馬県の露出を図るとともに、群馬県内への映画やテレビの撮影を誘致。 ・ 映像制作費 40,000千円 ・ 記録宣伝費用 10,000千円 <p>※バーチャルプロダクション 背景映像の仮想空間と実物の被写体を同時に撮影し、合成する制作手法。</p>
メディアプロモーション課		
(新規) 新コンテンツ企画	20,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ 映像製作会社等へのトップセールスに用いる、地域資源を活かした映像企画を作成。民間主体による商業ベースの映像製作（映画、ドラマ、アニメ）を促すことにより、本県のさらなる魅力発信と新たな富の創出を目指す。 ・ 映像企画作成等委託 20,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 映像企画（素案）作成等委託 2,000千円 ・ 映像企画（詳細）作成等委託 18,000千円
メディアプロモーション課		

事業名	金額	説明
ぐんまちゃんブランド化	476,561	<ul style="list-style-type: none"> ぐんまちゃんのブランド化を図り、県全体の経済的利益の向上と県民プライド醸成を図るため、認知度及び好感度の向上を目的とする国内外のプロモーションを実施。 <ul style="list-style-type: none"> ①国内プロモーション 230,000千円 <ul style="list-style-type: none"> 迅速な認知・好感度引き上げのため、首都圏や関西圏を中心としたプロモーションや、メディアを活用したプロモーションを実施。 ぐんまちゃん人気を群馬県への集客・誘客につなげるため、ぐんまちゃんグリーンティングスペース、ぐんまちゃんフォトスポットの整備や、北関東最大規模のキャライベントを実施。 ぐんまちゃんコンテンツの更なる活用に向けて、コンテンツ見本市に出展 ②海外プロモーション 88,000千円 <ul style="list-style-type: none"> 海外での群馬県の認知度向上を図るため、米国での現地プロモーション等を実施。 ③キャラバン隊出動 80,000千円 <ul style="list-style-type: none"> キャラバン隊による県PR、県産品販路拡大イベントへの出動や、幼稚園等への訪問を実施。 ④SNS企画・運営 18,000千円 ⑤会計年度任用職員人件費 19,127千円 ⑥利用許諾制度、事務費等 41,434千円
メディアプロモーション課		
再エネ導入支援	489,204 2月補正 120,000 合計 609,204	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県の高い太陽光発電ポテンシャルを生かし、脱炭素化とレジリエンス強化に向けた取組を後押しするため、中小事業者や個人が太陽光発電設備や蓄電池を導入する際の経費の一部を補助。 <ul style="list-style-type: none"> 補助対象者：中小事業者、個人 補助対象設備：太陽光発電設備、蓄電池 (蓄電池は太陽光発電設備と同時導入に限る) 補助単価：中小事業者 <ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電設備：5万円/kW 蓄電池：価格の1/3(上限5.3万円/kWh) 個人 <ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電設備：7万円/世帯 蓄電池：価格の1/3(上限4.7万円/kWh) ※蓄電池単独導入補助について、国補正予算を活用し、別途、120,000千円をR6年度2月補正に計上。
グリーンイノベーション推進課		
(新規) 温泉熱発電設備導入可能性調査	26,352	<ul style="list-style-type: none"> 温度・湧出量が県内トップである草津町の万代鉱源泉を対象に、湧出しているものの未利用となっている温泉熱水を活用したバイナリー発電の導入可能性を探るため、発電利用の湯温・湧出量、発電出力、経済性、設備設置場所等の分析を実施。
グリーンイノベーション推進課		
(一部新規) グリーンイノベーション加速化支援	60,241	<ul style="list-style-type: none"> 県内のグリーンイノベーションを加速させるため、企業等の脱炭素化、脱炭素ビジネスの育成、グリーン社会の形成に資する地域経済の発展に向けた取組を支援。 <ul style="list-style-type: none"> ①脱炭素経営の普及促進 2,714千円 <ul style="list-style-type: none"> 専門家相談、支援体制構築 ②グリーンイノベーション補助金 40,056千円 <ul style="list-style-type: none"> サーキュラーエコノミー、カーボンニュートラルに資する製品やビジネスの開発及び実証を補助。 ③(新規) 攻めの脱炭素経営群馬モデル 9,850千円 <ul style="list-style-type: none"> 県内企業の既存製品に脱炭素価値を追加し、成功例を横展開することで、脱炭素経営の普及を図る。 ④地域と共創する脱炭素イノベーション創出事業 7,621千円 <ul style="list-style-type: none"> 「脱炭素の視点を入れて地方創生・地域課題解決をしたい市町村」と「公益性のある新規事業を展開したい事業者」を新たな手法でマッチング。
グリーンイノベーション推進課		

事業名	金額	説明
(新規) 環境パブリックリレーションズ (PR) 推進	3,971	<ul style="list-style-type: none"> ・ネイチャーポジティブ、サーキュラーエコノミー、カーボンニュートラルといったグリーン分野の主要テーマについて、それに関わる県内の自然や文化、人、企業、活動を題材に、クリエイティブなコンテンツを制作し発信。 <ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツ制作 1,705千円 ・ホームページ改修 2,266千円
グリーンイノベーション推進課		
(一部新規) Ma a S社会実装・公共交通支援	797,425	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車への過度な依存から公共交通への転換を促し、持続可能な公共交通を実現するため、Ma a Sの普及拡大やユーザビリティの向上及び公共交通への支援を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ①Ma a S社会実装支援 127,462千円 <ul style="list-style-type: none"> ・GunMa a Sを活用した公共交通利用機会の創出 34,962千円 イベントと連携した公共交通利用の促進など <ul style="list-style-type: none"> ・(新規)民間事業者のチャレンジ促進 22,500千円 交通事業者が連携して行う新たな交通サービスの構築などの意欲的な取組を支援。(補助率1/2、補助上限額2,500千円) <ul style="list-style-type: none"> ・GunMa a Sの運営・保守 70,000千円 ②中小私鉄等振興 460,279千円 <ul style="list-style-type: none"> ・中小私鉄の安全で安定的な運行を確保するため、設備整備等に対して国や市町村と連携して補助。 ③地方バス路線対策・市町村乗合バス対策 209,684千円 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の足となる二次交通を確保するため、複数の市町村を跨ぐ地域間幹線系統を運行するバス事業者や乗合バスを運営する市町村等に対し、国と協調して補助。
交通イノベーション推進課		
(新規) 地域交通(中小私鉄3社)経営改革検討	30,000	<ul style="list-style-type: none"> ・県内中小私鉄3社(上毛電気鉄道、上信電鉄、わたらせ渓谷鐵道)の経営改善を図るため、3社を横断したサポート体制(経営戦略・営業企画の補完等、経営改善を進めるための体制)の構築を検討。 <ul style="list-style-type: none"> ・コンサルティング会社への委託料 30,000千円
交通イノベーション推進課		
(新規) 第四種踏切安全対策(第一種踏切化)補助	35,000	<ul style="list-style-type: none"> ・警報器や遮断機のない第四種踏切の安全対策を促進するため、第一種踏切への転換に要する工事費のうち、鉄道事業者負担分(工事費全体の1/6)を補助。 <ul style="list-style-type: none"> ・転換工事費30,000千円/1か所×7か所×1/6=35,000千円 ※別途国1/2、道路管理者(市町村)1/3の補助あり。
交通イノベーション推進課		
地域外交推進	88,679	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイレベルな人脈構築、優れたコンテンツの発信、世界の先進技術を掴むため、知事によるトップ外交を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・渡航先候補：米国、ベトナム、欧州、ブラジル ・海外要人来県対応等
地域外交課		

〈総務部関係〉

単位:千円

事業名	金額	説明
(一部新規) 県庁舎等リノベーション推進	254,417	<ul style="list-style-type: none"> 県庁舎等の有効活用を図るため、イベント開催によるにぎわいの創出や庁舎のリノベーションを進める。また、職員の多様で柔軟な働き方等を実現するための環境整備を図る。 <p>①県庁内有効活用 32,350千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にぎわい創出に向けたイベント開催 24,000千円 ・県庁内有効活用に向けた調査委託等 8,350千円 <p>②(新規)県民サロン改修 19,965千円</p> <p>③執務室フリーアドレス化 202,102千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の多様な働き方やコミュニケーションの活性化等を図るため執務室のフリーアドレス化を実施(6フロア)。
財産有効活用課		
県有施設長寿命化推進	8,200,000	<ul style="list-style-type: none"> 県が保有する一定規模以上の施設について、長期保全計画に基づき、長寿命化のための工事を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・知事部局等 3,400,000千円 ・県立学校 3,500,000千円 ・警察施設 1,300,000千円
財産有効活用課 教育委員会管理課 警察本部装備施設課		
災害レジリエンス推進	10,000	<ul style="list-style-type: none"> レジリエンスの拠点実現に向けた取組を進める。 <p>①「命のコンテナプロジェクト」群馬モデル実施 8,466千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者と連携し、災害時にも活用できる高機能コンテナ等の社会実装に向けた事業モデルを構築し、民間主導による社会実装(事業化)を図る。 <p>※命のコンテナプロジェクト… 平時の地域活性化と災害時の被災者支援等に求められる機能を有した移動可能な高機能コンテナ等の社会実装を目指す、民間企業等が中心となって進めているプロジェクト。 令和6年度に給排水設備不要な水循環型洗濯機の社会実装に向けた実証実験を開始し、令和7年度は実施体制を拡大して検証。</p>
危機管理課		<p>②災害レジリエンス強化に向けた調査等 1,534千円</p>
防災へり事故慰霊等	27,461	<ul style="list-style-type: none"> H30年8月に発生した防災へり墜落事故の殉職者慰霊のため、以下の事業を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・追悼式 4,360千円 ・慰霊登山 147千円 ・慰霊登山道維持管理 21,221千円 ・慰霊施設維持管理等 1,733千円
消防保安課		
(新規) 救急安心センター (#7119)	20,848	<ul style="list-style-type: none"> 「県民の安心・安全」と「救急搬送の適正化」を目的に、急な病気やけがをしたときに専門家に相談できるコールセンターを設置。 <ul style="list-style-type: none"> ・開始時期:令和7年10月(予定) ・対応時間:24時間365日
消防保安課	債務負担行為 (61,875)	
LPガス利用者負担軽減	719,000	<ul style="list-style-type: none"> LPガスを利用する県内の一般消費者等に対し、LPガス販売事業者を通じた料金の値引きを実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・対象 LPガスの供給を受ける一般消費者等(工業用の利用者を除く) ・支援額 1,200円(1回限り) ・その他 料金の値引きを行うLPガス販売事業者に対しては、1事業者あたり事務費として20千円を支給
消防保安課		

〈地域創生部関係〉

単位:千円

事業名	金額	説明
(一部新規) ぐんま暮らし支援 ぐんま暮らし・外国人 活躍推進課	474,280	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村や関係機関と連携し、相談体制・情報発信の強化や、転職なき移住・ワーケーションの推進等に取り組み、群馬県への移住を促進。 ①ぐんま暮らしブランド化推進 70,055千円 <ul style="list-style-type: none"> ・「ぐんま暮らし支援センター」運営 42,866千円 ・各種相談会・セミナー開催 22,123千円 ・ぐんま暮らしの魅力の情報発信 4,322千円 ・市町村等を対象とした受入体制強化・研修 744千円 ②ぐんまでテレワーク推進プロジェクト 6,325千円 <ul style="list-style-type: none"> ・(新規)子育て世帯向けテレワーク移住体験 3,850千円 ・保育園留学ができる環境を整備し、子育て世帯を対象としたテレワーク移住体験事業を実施 ・受入地域の情報発信 2,475千円 ③移住支援金 397,900千円 <ul style="list-style-type: none"> ・東京23区の在在勤者が県内に移住し就業・起業・テレワークする際に、要件を満たす対象者へ市町村から移住支援金を交付 ・支給額：世帯100万円(子育て加算 最大+100万円/人) 単身60万円 <p>※子育て加算は、市町村毎に支給額が異なる場合あり。</p>
多文化共生・共創県ぐんま 推進 ぐんま暮らし・外国人 活躍推進課	53,269	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生・共創推進基本計画の基本方針に基づき、生活者としての外国人に対する支援、生活環境整備の拡充及び多文化共創推進のための事業を実施。 ①多文化共生推進 42,242千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ぐんま外国人総合相談ワンストップセンター運営 20,796千円 ・多文化共生・共創パーク 5,500千円 <ul style="list-style-type: none"> ・日本人と外国人県民がお互いの文化を知り、理解し合うための「交流の場」を提供 ・医療通訳派遣 2,945千円 ・「やさしい日本語」普及 2,384千円 ・「ぐんまで日本語！」プロジェクト 5,644千円 ・その他事業 4,973千円 ②多文化共創推進 11,027千円 <ul style="list-style-type: none"> ・多文化共創カンパニー認証制度 3,183千円 ・外国人材活躍推進ネットワーク構築 2,732千円 <ul style="list-style-type: none"> ・群馬県の認知度向上や人材確保に向けて、ベトナムなどASEAN諸国の現地大学等と関係を構築。 ・外国人材発掘支援 4,371千円 <ul style="list-style-type: none"> ・高度外国人材を対象としたオンライン及び対面の合同企業説明会のほか、新たにインドネシア現地ジョブフェアを実施。 ・多文化共創担い手育成 741千円 <ul style="list-style-type: none"> ・外国ルーツの高校生のキャリア形成支援を目的としたインターンシップを実施。

事業名	金額	説明
(新規) やるぞ!バズるぞ!上毛かるたプロジェクト 文化振興課	7,580	<ul style="list-style-type: none"> ・「上毛かるた」を通じて、郷土群馬への「誇り」と「愛」を醸成するため、「上毛かるた」を広める取組を実施。 ①「知事がみんなの夢を叶えます」プロジェクト 4,550千円 <ul style="list-style-type: none"> ・上毛かるた県大会の優勝チームに対して、「みんなのためになる、みんなが喜ぶ」ような夢を実現できるようサポート。 ②上毛かるた親子大会の開催拡大 1,060千円 <ul style="list-style-type: none"> ・全ての小学生・保護者が参加できる「上毛かるた親子大会」を県内各地域で開催。 ③「子どもかるたコミュニティ」モデル事業 1,700千円 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会で上毛かるたの練習をしていない地域において、ボランティア等の支援のもと、児童がかるたで遊ぶ場をモデル的に実施。 ④子どもたちの「上毛かるた」体験の拡充 270千円 <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブへ上毛かるたを配布し、かるたで遊ぶ機会を創出。
(一部新規) 群馬パーセントフォーアート推進 文化振興課 障害政策課	95,734	<ul style="list-style-type: none"> ・「群馬パーセントフォーアート」推進条例に基づき、投資的経費の0.1%程度をアート振興施策に支出するとともに、群馬モデル創出に向けた各種事業を実施。 ①アーティスティックGUNMA 49,157千円 <ul style="list-style-type: none"> ・(新規) 推進会議のアップデート 5,305千円 <ul style="list-style-type: none"> ・アートの可能性等をセッションするSOCIAL INNOVATION FORUM (仮称)を実施。 ・(新規) 新たな価値の創造プロジェクト 2,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・SOCIAL INNOVATION FORUM (仮称) で出たアイデアについて、民間資金により実現するための企画提案を公募。 ・群馬モデル形成事業(企業×アート) 11,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・アーティストが企業に滞在、制作した作品を公開し、企業のアート活用を推進。 ・群馬モデル形成事業(ビジネス×アート) 10,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・街中でアート制作の場を公開し、アートによるまちづくりを推進。 ・アート支援団体育成事業 10,000千円 ・県庁舎アートデザインプロジェクト 700千円 ・始動人アートプロジェクト 3,000千円 ・アート教育 2,000千円 ・デザイン・アートデータベース 1,300千円 ・事務費等 3,852千円 ②デジタルミュージアム推進 34,650千円 <ul style="list-style-type: none"> ・県立博物館等が収蔵する文化資源をデジタル技術により館外で活用し、活力と魅力に溢れた公共空間を創出。 ・収蔵品のデジタルアーカイブ化 6,600千円 ・県内各地でのデジタル展示 28,050千円 ③障害者芸術文化活動支援センター(こ・ふあん)運営 11,927千円
(一部新規) 温泉文化ユネスコ無形文化遺産登録推進 文化振興課	80,821	<ul style="list-style-type: none"> ・温泉文化のユネスコ無形文化遺産登録に向け、民間企業や知事の会参画道府県と連携した機運醸成を実施。 ①公募型温泉文化機運醸成事業 17,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業等のプラットフォーム、得意分野を活かした温泉文化の機運醸成の取組を実施。 ②温泉文化フォーラム 7,474千円 ③温泉文化啓発映像制作 50,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・温泉文化を広く国内外に発信するため、世界で視聴してもらえる映像コンテンツを制作する。 ④(新規) 知事の会機運醸成事業 3,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・知事の会で機運醸成のためのイベントを実施 ⑤その他事務費 3,347千円

事業名	金額	説明
(一部新規) 群馬交響楽団支援	312,479	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたオーケストラである群馬交響楽団の運営基盤の安定を図るとともに、群響改革プランに基づき、レベルアップや新たなファン獲得のための支援を実施。 ①改革プランの取組支援 15,274千円 <ul style="list-style-type: none"> ・改革プランで掲げる「楽団の更なるレベルアップ」、 「安定的・継続的な楽団運営」の取り組みに対して支援。 ・海外演奏家のスポット起用、80周年をテーマとした広報展開など ②経営安定化等への支援継続 288,176千円 <ul style="list-style-type: none"> ・運営費補助、退職金積立、各種演奏活動等への補助など ③(新規)創立80周年記念事業 9,029千円 <ul style="list-style-type: none"> ・創立80周年記念事業として開催するベートーヴェン交響曲全曲演奏会等に対して支援。
文化振興課		
世界遺産保存整備	275,473	<ul style="list-style-type: none"> ・関係市町が行う世界遺産構成4資産の保存整備事業に対して補助。 ・補助率：25%（災害復旧は15%） ・対象事業及び補助金額 <ul style="list-style-type: none"> ・富岡製糸場（富岡市） 232,668千円 乾燥場・繭扱場保存整備、煙突保存修理ほか ・田島弥平旧宅（伊勢崎市） 6,798千円 桑場整備工事実施設計ほか ・高山社跡（藤岡市） 22,972千円 母屋兼蚕室修復工事 ・荒船風穴（下仁田町） 13,035千円 園路整備、支障木伐採
文化振興課		
(新規) 近代美術館LED化	871,845	<ul style="list-style-type: none"> ・近代美術館の照明をLED化するため、実施設計及び工事を実施。令和8年秋のリニューアルオープンを目指す。 ①実施設計業務委託 42,350千円 ②LED化工事 829,495千円 <p><施設規模・更新する照明> 延べ床面積 13,000㎡、照明個数 約7,700本、特殊設備（自然光調光システム、舞台照明等）</p>
文化振興課		
ALSOKぐんま総合スポーツセンターの整備	229,643	<ul style="list-style-type: none"> ・2029年「湯けむり国スポ・全スポぐんま」の開催に向け、施設改修及び備品購入を実施。 ①施設改修 181,663千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ぐんまアリーナ音響設備更新Ⅰ期 108,253千円 ・Wi-Fi環境整備 21,140千円 ・テニスコート夜間照明LED化 3,240千円 ・ぐんま武道館・大道場畳更新 41,030千円 など ②備品購入 47,980千円 <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットゴール、新体操用・体操用マット、トランポリン
スポーツ振興課		
第79回国民スポーツ大会 関東ブロック大会開催	185,586	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県で開催する第79回国民スポーツ大会の関東ブロック大会の開催経費。 ・群馬県実行委員会負担金 185,586千円 <ul style="list-style-type: none"> ・各競技団体への運営経費等の補助、大会開催に必要な備品購入等 <p><関東ブロック大会概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技数・種目数 <ul style="list-style-type: none"> ・32競技・38種目開催（うち県外6種目）。 ・開催時期 <ul style="list-style-type: none"> ・6月から開始され、中心会期は、8月。12月に、アイスホッケーを開催。 <p>※県内会場は9市2町で開催。</p>
スポーツ振興課		

事業名	金額	説明
(一部新規) 競技力向上対策	393,940	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県から、湯けむり国スポに向け、更には世界を舞台に活躍する優秀なスポーツ選手を輩出できるよう、各競技団体等が実施する強化活動に対して助成等を行う。 対象団体：県スポーツ協会加盟競技団体、中体連、高体連、県スポーツ協会 対象事業 <ul style="list-style-type: none"> (新規) ジュニア選手の海外展開事業 (新規) 指定強化選手・指導者制度 (新規) 国スポヘッドコーチ及び医科学担当者設置 (新規) スタージュニア事業 強化合宿、遠征等に係る経費を補助(競技団体、高体連、中体連) ジュニアの発掘・育成・一貫指導体制構築 指導者の養成・資質向上 医科学データ活用 等
スポーツ振興課		
パラスポーツ施設整備	7,000	<ul style="list-style-type: none"> 2029年「湯けむり国スポ・全スポぐんま」に向け、パラスポーツ施設の修繕等を実施。 ふれあいスポーツプラザ陸上トラック洗浄 3,500千円 ゆうあいピック記念温水プールろ過ろ材装置修繕 3,500千円
スポーツ推進課		
第83回国民スポーツ大会・第28回全国障害者スポーツ大会開催準備	67,058	<ul style="list-style-type: none"> 2029年「湯けむり国スポ・全スポぐんま」の開催準備を進めるため、大会準備委員会に対して負担金を支出。 (主な事業) <ul style="list-style-type: none"> ①広報啓発 31,974千円 <ul style="list-style-type: none"> 大会の広報・機運醸成の事業を展開 ・HP管理、グッズ製作、広報・機運醸成委託※ 等 ※事業費総額138,263千円 ：民間のアイデアを活用して事業を展開 ：R7～9年度の3カ年度で実施 ：債務負担行為(R8.9年度) 124,363千円 ②競技役員等養成 14,293千円 <ul style="list-style-type: none"> ・各競技団体が行う審判役員等を養成する取組に補助 ③その他 20,791千円 <ul style="list-style-type: none"> ・式典準備、情報支援ボランティア養成、事務局運営等
湯けむり国スポ・全スポぐんま準備課	債務負担行為 (124,363)	
第83回国民スポーツ大会・第28回全国障害者スポーツ大会施設整備	497,398	<ul style="list-style-type: none"> 2029年「湯けむり国スポ・全スポぐんま」の開催に向けて、競技会場となる市町村有施設及び県有施設の整備を推進。 (主な事業) <ul style="list-style-type: none"> ①市町村有施設整備補助 474,661千円 ②県有施設整備 22,737千円
湯けむり国スポ・全スポぐんま準備課		
第83回国民スポーツ大会・第28回全国障害者スポーツ大会開催基金積立	1,504,714	<ul style="list-style-type: none"> 2029年「湯けむり国スポ・全スポぐんま」の実施に係る運営費の財政負担を平準化するため、基金に積立。 ・基金 1,500,000千円 ・利子 4,714千円
湯けむり国スポ・全スポぐんま準備課		

〈生活こども部関係〉

単位：千円

事業名	金額	説明
(一部新規) 家庭内での家事・育児分担 推進	5,650	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内での家事・育児分担の見直しや効率化を家族で考えるきっかけを作ることで、家庭と仕事の両立を支援するための機運醸成・意識浸透につなげるイベント・セミナーを実施。 ①(新規)家庭内での家事・育児効率化推進イベント 5,000千円 ②子どもの個性に応じた育児を夫婦で考えるセミナー 650千円
生活こども課		
(新規) 新たなこどもの居場所づくり の推進	31,013	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の校門が開くまでの朝のこどもの居場所の確保や、県内プロスポーツチーム等との連携、県営住宅集会所の改修・活用により、質の高い「こどもの居場所づくり」を推進。 ①朝の居場所づくりモデル事業 24,000千円 ・市町村補助 2,000千円×12箇所 ②プロスポーツチーム等と連携した居場所づくり・体験創出モデル事業 2,783千円 ・スポーツ教室開催委託 ③県営住宅の空きスペースを活用した居場所づくり 4,230千円 ・設計委託費(基本設計・実施設計) ※R7設計委託、R8工事、運用開始
生活こども課 こども・子育て支援課 スポーツ振興課 住宅政策課		
(一部新規) 保育充実促進費補助(低年齢 児保育補助)	135,876	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の保育所等における一歳児の保育士配置について、国の5:1(児童:保育士)配置への加算開始に伴い、4:1の配置を行う保育所等のうち、非認知能力の育成やインクルーシブ保育等に取り組む保育所等に対し、令和7年10月から新たに補助を実施。 ①(新規)4:1補助 95,600千円(R7.10~) ②5:1補助 40,276千円 ※国加算対象外の施設に対し、引き続き支援。
こども・子育て支援課		
私立学校教育振興費補助	5,731,631	<ul style="list-style-type: none"> ・私立学校の教育条件の維持向上のため、教員人件費などの経常的経費に対して補助。 ・補助金額 <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校 4,323,687千円 ・中学校 541,846千円 ・小学校 330,011千円 ・幼稚園 176,714千円 ・専修学校など 359,373千円
私学・青少年課		
私立高等学校授業料支援事業補助	407,040	<ul style="list-style-type: none"> ・国の授業料全額補助の対象外となっている、年収目安590~910万円世帯の私立高等学校授業料に対して補助。新たに年収目安590~720万円世帯への支援を拡充。 1人あたり年間補助額 <ul style="list-style-type: none"> ・年収目安590万円以上720万円未満 166,320円/年(月額1万円、年額12万円を増額) ・年収目安720万円以上910万円未満 46,320円/年
私学・青少年課		

事業名	金額	説明
ケアリーバー支援拡充	58,770	<ul style="list-style-type: none"> ・児童養護施設等退所児童（ケアリーバー）の自立に向け、社会的養護自立支援拠点事業所（アフターケア拠点）の就労相談体制の強化や、児童養護施設等のアフターケア担当職員配置を支援することで、支援体制の充実を図る。 ①アフターケア拠点運営 26,809千円 ②児童養護施設等へのアフターケア担当職員の配置 31,961千円
児童福祉課		
（一部新規） 子どもの権利擁護の取組強化（一時保護所アドボカシー事業等）	3,679	<ul style="list-style-type: none"> ・児童相談所が一時保護所で保護したこどもの意見形成や意見表明を支援するため、中央児相・東部児相の2箇所で、アドボカシー事業（※）を本格実施。合わせて、施設入所児童等に配布するこどもの権利ノート更新等を新たに実施。 ①アドボカシー事業委託 3,029千円（中央児相、東部児相） ②（新規）こどもの権利ノート更新等 650千円 ※アドボカシーとは、こどもが自らの考えを整理することや、意見表明を支援するほか、本人に代わって発言すること。
児童福祉課		
（一部新規） 中央児童相談所・一時保護所改修工事	150,050	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用に支障が生じている事務棟老朽化対応工事を実施。また、一時保護所の体育館のエアコン設置の設計委託を実施。 ①事務棟給排水設備整備 147,800千円 <ul style="list-style-type: none"> ・来所者用トイレ及び給湯室改修工事 41,180千円 ・屋外排水設備及び浄化槽改修工事 78,260千円 ・屋外給水設備改修工事 28,360千円 ②（新規）一時保護所体育館エアコン設置設計委託 2,250千円
児童福祉課		
（一部新規） 先天性代謝異常等検査助成	172,859	<ul style="list-style-type: none"> ・県内で出生した全ての新生児を対象とする先天性代謝異常等検査について、既存22疾患に加え、県内で検査・治療体制が確保されている7疾患を新たに公費負担（無料化）の対象として追加。 <ul style="list-style-type: none"> ・既存22疾患の検査費用 74,997千円 ・（新規）拡大7疾患分の検査費用 97,862千円
児童福祉課		
（新規） 妊産婦支援充実（産後ケア事業等）	3,370	<ul style="list-style-type: none"> ・産後ケア事業所の国ガイドライン改定等を受け、妊産婦支援を行う市町村、産後ケア事業所、医療機関等に対し支援を実施。 ①産後ケア事業の充実 298千円 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村保健師及び産後ケア事業所職員向けの安全管理体制研修会の開催 ②妊産婦メンタルヘルスに関するネットワーク構築事業 3,072千円 <ul style="list-style-type: none"> ・精神科医療機関、産婦人科医療機関及び行政等による協議会及び拠点病院の設置運営委託
児童福祉課		

事業名	金額	説明
(一部新規) ぐんま学園改修工事 児童福祉課	83,768 債務負担行為 (428,163)	<ul style="list-style-type: none"> ・ぐんま学園において、児童の生活環境を改善するための居室個室化工事のほか、老朽化した体育館の改修設計委託を実施。 ①居室個室化工事 76,898千円 (R7～9年度の3か年で実施。総額 505,445千円) ②(新規)体育館改修工事設計委託 6,870千円
(新規) しろがね学園改修工事 児童福祉課	6,370	<ul style="list-style-type: none"> ・しろがね学園において、児童の特性に配慮した浴室複室化工事のための設計委託のほか、児童のための見守りモニター設置工事を実施。 ①浴室複室化工事設計委託 3,730千円 ②見守りモニター設置工事 2,640千円

〈健康福祉部関係〉

単位:千円

事業名	金額	説明																								
医療提供体制支援に係る拠点整備	112,501	<ul style="list-style-type: none"> 県医師会が行う群馬メディカルセンター（県医師会館）整備に対し、医療提供体制支援に係る拠点整備に向けて、県として必要な財政支援を実施。 補助対象：在宅医療、新興感染症、災害対応等の拠点として必要な機能を有する部分 補助率：在宅医療 1/2、その他 1/4																								
健康福祉課 感染症・疾病対策課																										
(一部新規) 医療DX推進（電子処方箋、PMH）	228,906	<ul style="list-style-type: none"> 医療DXを推進するため、医療機関や薬局に対し、国補助に上乗せしてシステム改修経費を補助。 ①電子処方箋管理サービスの導入を完了した医療機関等に対する補助 210,826千円 ②（新規）地方自治体が行う医療費助成（例：子どもの医療費無料化）等に用いる紙の受給者証に替えて、マイナンバーカードで受付できるようにシステム改修を実施した医療機関等に対する補助 18,080千円 ※PMH(Public Medical Hub)とは、公費負担医療や地方単独の医療助成などに係る情報を、自治体や医療機関、対象者間で連携するシステムのこと。																								
健康福祉課 医薬務課																										
医療・介護・福祉施設への物価高騰対策支援	1,784,960	<ul style="list-style-type: none"> 物価高騰の影響を価格転嫁できない医療機関、介護施設等に対し、支援金を支給。 給付金 1,747,044千円 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>支援対象</th> <th>支援額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">医療機関等</td> </tr> <tr> <td>病院・有床診療所</td> <td>23千円/床</td> </tr> <tr> <td>無床診療所</td> <td>67千円/施設</td> </tr> <tr> <td>薬局、助産所、施術所、歯科技工所等</td> <td>30千円/施設</td> </tr> <tr> <td colspan="2">高齢者、障害福祉施設等</td> </tr> <tr> <td>入所系施設</td> <td>14千円/人</td> </tr> <tr> <td>訪問系施設(広域)</td> <td>47千円/施設</td> </tr> <tr> <td>訪問系施設(上記以外)</td> <td>22千円/施設</td> </tr> <tr> <td>通所系施設</td> <td>7千円/人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">児童養護施設等</td> </tr> <tr> <td>入所系施設</td> <td>14千円/人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 事務関係費 37,916千円 	支援対象	支援額	医療機関等		病院・有床診療所	23千円/床	無床診療所	67千円/施設	薬局、助産所、施術所、歯科技工所等	30千円/施設	高齢者、障害福祉施設等		入所系施設	14千円/人	訪問系施設(広域)	47千円/施設	訪問系施設(上記以外)	22千円/施設	通所系施設	7千円/人	児童養護施設等		入所系施設	14千円/人
支援対象			支援額																							
医療機関等																										
病院・有床診療所	23千円/床																									
無床診療所	67千円/施設																									
薬局、助産所、施術所、歯科技工所等	30千円/施設																									
高齢者、障害福祉施設等																										
入所系施設	14千円/人																									
訪問系施設(広域)	47千円/施設																									
訪問系施設(上記以外)	22千円/施設																									
通所系施設	7千円/人																									
児童養護施設等																										
入所系施設	14千円/人																									
医薬地域介護 福祉高年齢 福祉策課																										

事業名	金額	説明
(一部新規) 周産期・小児医療体制整備 医 務 課	18,415	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立小児医療センターの移転後も北毛地域の周産期・小児医療提供体制を確保するとともに、県全体の医療体制の充実を図るため、医療連携や医療DXを推進。 ① (新規) 産科連携推進 1,815千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 妊産婦の負担軽減のため、検診は近くの施設で、分娩は設備の整った施設で行う仕組みの構築を目指し、コーディネーターを配置。 ② 周産期緊急搬送補助システム導入推進 10,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 母体搬送時における情報共有の迅速化・円滑化を図るため、周産期医療機関への周産期緊急搬送補助システム導入を推進。 ③ (新規) 小児医療機関オンライン支援システム導入推進 6,600千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関間での支援体制の確保・強化を図るため、小児医療センターと北毛地域の小児一次医療機関等へのオンライン相談システムの導入を推進。
(新規) 救急医療対策 (転院搬送体制強化) 医 務 課	19,018	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救命救急センターの空床を確保し、新規の受入件数を増やすため、DXを活用し、急性期を脱した患者の他病院への転院を促進する。 ① 転院搬送用応需モニター機能の付加 5,500千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 転院患者の受け入れ可否について一元的に管理する応需モニター機能を、既存の群馬県統合型医療情報システムに付加。 ② 病院間コミュニケーションツールの導入 13,518千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 転院搬送の受入先調整や、災害時の病院間の連絡調整を効率化するため、病院間コミュニケーションツールを県内の救急医療機関に導入。
(一部新規) 医師確保対策 医 務 課	639,087	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドクターズカムホームプロジェクトを推進し、医師の確保や偏在解消に取り組むとともに、医師の働きやすい環境づくりを推進し、医療提供体制の確保を図る。 ① 若手医師の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急医師確保修学資金貸与 220,086千円 <ul style="list-style-type: none"> 医学部地域枠を増員・新設 (群大18名→23名、県外大学0名→4名) し、該当の学生に対し、修学資金を貸与。 ・ 地域医療支援センター運営 66,509千円 <ul style="list-style-type: none"> 医学部地域枠の増員・新設に伴い、学生等のキャリア形成支援を行う専任医師を1名増員し、支援体制を強化。 ② 働きやすい環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性医師等就労支援 22,070千円 <ul style="list-style-type: none"> 子育て中の医師が利用する保育サポーターバンクにおけるサポーター増員のため、報酬単価を引き上げ、新規サポーターの確保を図る。 ・ (一部新規) 勤務医の労働時間短縮に向けた体制整備 167,539千円 <ul style="list-style-type: none"> 医師の労働時間短縮のために、病院のICT等の活用などの体制整備に係る経費や医師の派遣を行う病院の運営を支援。 <p style="text-align: right;">ほか</p>

事業名	金額	説明
(一部新規) 群馬県の災害医療の強化 医 務 課	134,932	<ul style="list-style-type: none"> ・「首都圏の災害医療の代替拠点」構想実現に向けた、各病院の機能強化のための整備等を実施。 ①前橋赤十字病院SCU 衛星通信環境整備 3,432千円 地上通信網の寸断時でも、平時と同等の業務環境を実現できるよう、衛星通信環境の整備に対し補助 (補助率:10/10)。 ・衛星電話3台の更新費用 1,790千円 ・(新規)starlink導入(前橋日赤病院内・SCU内に設置) 1,642千円 ②DMAT資機材整備への補助(計8病院) 16,000千円 ・災害拠点病院に対して資機材更新に必要な費用を補助。 ③太田記念病院新ER棟建設への補助 115,500千円 ・救命救急センターの病床数を20床から38床に増床。 ・R8年度竣工見込。
次のパンデミック対応 感染症・疾病対策課	240,908	<ul style="list-style-type: none"> ・次のパンデミック発生時に、県内の感染拡大と医療のひっ迫を防止し、県民の健康で安全な生活を守るために必要な医療体制の構築を図る。 ①医療機関の感染症対応力向上 168,740千円 ・人材の育成 18,000千円 感染症医療支援センター(前橋赤十字病院)による医療機関向け研修を実施。 ・施設・設備整備への支援 150,740千円 協定締結医療機関の施設整備や設備整備を支援。 ②県の感染症対応力向上 72,168千円 ・実践型訓練の実施 2,232千円 平時から感染症発生を想定した各種訓練を実施。 ・備品等の整備 67,931千円 新型インフルエンザ等発生時に備え、抗インフルエンザ薬及び個人防護具の備蓄を計画的に進める。 ・感染症発生時の対応力の向上 2,005千円 保健所職員の資質向上を図るとともに有事に保健所業務を支援する人材の確保やクラスター発生時に実地指導を行う専門家を派遣。
(一部新規) HPVワクチン理解促進 感染症・疾病対策課	8,590	<ul style="list-style-type: none"> ・HPVワクチンの接種者増加のため、ワクチンの理解促進や接種機会の拡大を図る。 ①(新規)HPVワクチン理解促進イベントの開催 2,500千円 ・ショッピングモール接種に合わせ、当事者と専門家を交えたトークイベント等を開催。 ②ショッピングモールでの接種の実施 3,010千円 ・R6年度に引き続き、ショッピングモールに臨時接種会場を設置。 ・平日は部活動等で時間をとることができない学生等を対象に接種を実施。 ③普及啓発の充実 3,080千円 ・啓発メッセージを添えた生理用ナプキンを作成し、県内中学・高校等に配布等。

事業名	金額	説明
(一部新規) 健康寿命延伸対策	32,672	<ul style="list-style-type: none"> ・県民幸福度向上に向けた「活力ある健康長寿社会の実現」のため、県民主体の健康づくり及び科学的根拠に基づく施策を推進。 ①生活習慣の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・県公式アプリ「G-WALK+」の運営、利用促進 15,056千円 ・健康づくり実践の普及啓発のための講習会など 1,410千円 ②自然に健康になれる環境づくり 5,060千円 群馬県の栄養課題である「食塩摂取量の減少」を目標に、企業等と連携して、健康的な食環境づくりを推進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・(新規)企業向け食環境実態調査 等 ③データに基づく取組 11,146千円 特定健診等のデータを用いた生活習慣病に関する分析と健康増進施策への活用。
健康長寿社会づくり推進課		
福祉医療費補助	8,418,000	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども医療費補助 4,883,000千円 子育て世帯を支援するため、県と市町村が協力して、高校卒業までの医療費無料化を実施。 ・重度心身障害者医療費補助 2,891,000千円 重度の障害がある方に必要な支援を行うため、県と市町村が協力して、重度心身障害者の医療費無料化を実施。 ・母子家庭等医療費補助 644,000千円 母子家庭等を支援するため、県と市町村が協力して、母子家庭等の医療費無料化を実施。
国保医療課		
(一部新規) ペットとの共生推進	37,483	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットが社会で活躍できるよう、犬の嗅覚等の能力を活用する研究を研究機関と協力して進めるとともに、ペットとの共生社会実現に向けた機運醸成に取り組む。 ①ペットが社会で活躍できる場の創出 27,912千円 <ul style="list-style-type: none"> ・医学探知犬研究 <ul style="list-style-type: none"> ・医学探知犬についての研究委託 10,000千円 ・評価委員会開催経費 853千円 ・探知犬の訓練等委託 15,400千円 ・医学探知犬研究先行事例調査 1,659千円 ②ペットとの共生社会実現に向けた機運醸成 8,071千円 ③(新規)小児医療センターでのファシリテッドッグ導入検討のための試行実施 1,500千円
食品・生活衛生課 病院局経営戦略課		
(一部新規) 介護生産性向上対策	246,544	<ul style="list-style-type: none"> ・介護現場の生産性向上を一層推進していくため、介護事業者向けの相談窓口を設置するとともに、介護事業者が改修工事の際にあわせて行う介護ロボット等の導入経費に対し補助。 ①(新規)介護生産性向上総合相談センター設置 8,246千円 ②改修工事の際にあわせて行う介護ロボット等導入支援 238,298千円 <ul style="list-style-type: none"> ・対象施設：県内の広域型施設、地域密着型施設等 ・補助単価：496千円/定員 ほか
地域福祉課 介護高齢課		
老人福祉施設整備費補助 (大規模修繕)	100,000	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム等における施設・設備の大規模修繕を支援し、施設の長寿命化及び利用者の安全確保を図る。 ・補助対象：屋上防水、外壁改修、空調改修 ・補助率：1/2以内 ・補助上限：20,000千円
介護高齢課		

事業名	金額	説明
自殺対策	65,800	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県自殺総合対策行動計画に基づき、自殺対策推進センターを中心に、市町村、関係機関と連携し、総合的な自殺対策を実施。 ・電話相談（こころの健康相談統一ダイヤル） 14,487千円 ・自殺対策のためのLINE相談 20,000千円 ・広報・周知啓発 1,166千円 ・ゲートキーパー養成、人材育成研修 2,949千円 ・民間団体の取組支援 8,011千円 ・自殺対策推進センター運営等 6,669千円 ・市町村補助 12,518千円
障害政策課		
障害者芸術文化推進 (再掲)	11,927	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における障害者の自立と社会参加の促進を図るため、県内の障害者の芸術文化活動支援の拠点となる「群馬県障害者芸術文化活動支援センター こ・ふぁん」を中心に、障害者の芸術文化活動の普及を支援。 ・センター運営 11,560千円 ・評価委員会等の開催 367千円
障害政策課		

〈環境森林部関係〉

単位:千円

事業名	金額	説明
(新規) 生物多様性保全推進 自 然 環 境 課	20,000	<ul style="list-style-type: none"> ・2030年ネイチャーポジティブ実現に向け、県内企業の支援を行うとともに、「生物多様性ぐんま戦略」の改定を実施。 ①ネイチャーポジティブ経営企業支援 8,502千円 ・県内企業向けネイチャーポジティブ研修会を行うとともに生物多様性増進活動計画の策定を支援する専門家を派遣 ・ネイチャーポジティブ経営企業プラットフォームを創設し、企業同士の連携を推進 ②生物多様性ぐんま戦略の改定 11,498千円 ・生物多様性国家戦略等の内容を踏まえ、生物多様性ぐんま戦略を1年前倒して改定
(一部新規) 県立赤城公園活性化整備 自 然 環 境 課	1,109,345 2月補正 36,000 合計 1,145,345	<ul style="list-style-type: none"> ・県立赤城公園の活性化に向け、拠点施設整備を進めるとともに、自然環境調査や大沼北岸トイレの設計を実施。 ①県立赤城公園活性化 1,057,645千円 大沼キャンプフィールド及び赤城ランドステーションの工事等 ②自然環境調査 50,000千円 自然公園指定に向けて、想定区域にかかる自然環境調査を実施 ③(新規)大沼北岸トイレ設計 1,700千円 利用者の利便性を図るため、大沼北岸に通年利用できるトイレの設計業務を実施 ※啄木鳥橋架替について、国補正予算を活用し、別途、36,000千円をR6年度2月補正に計上。
尾瀬設備クオリティアップ 自 然 環 境 課	189,538 2月補正 20,000 合計 209,538	<ul style="list-style-type: none"> ・尾瀬国立公園を魅力的かつ、安全・安心なものとするため、老朽化した施設や設備を計画的に改修。 ①山の鼻公衆トイレ汚泥乾燥機更新 180,000千円 ②鳩待峠入山口案内板改修 2,490千円 ③至仏山東面登山道梯子階段撤去工事 3,000千円 ④その他(衛星電話更新等) 4,048千円 ※大清水尾瀬沼線の老朽木道の整備について、国補正予算を活用し、別途、20,000千円をR6年度2月補正に計上。
(一部新規) 尾瀬サステイナブルプラン 自 然 環 境 課	46,998	<ul style="list-style-type: none"> ・尾瀬の魅力を活かし、群馬らしい学びにより始動人を育成するとともに、尾瀬の保全と利用の好循環を実現するための取組を実施。 ①尾瀬ネイチャーラーニング 42,006千円 入門的なSTEAM教育の題材として尾瀬又は芳ヶ平湿地群を訪れた県内外の小中学校等にガイド代等を支援(補助率1/2 ※取組内容により2/3に引上げ) ②尾瀬における官民共創導入促進 1,492千円 民間事業者と連携し、登山道整備等にかかる参加型ツアーを実施 ③(新規)新たな利用者負担の検討 3,500千円 公園内の歩道整備等に活用する新たな利用者負担(入域料等)の導入に向けた検討を開始

事業名	金額	説明
(一部新規) 指定管理鳥獣捕獲等 (ツキノワグマ対策)	14,360	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内におけるツキノワグマの目撃・出没件数の増加や人身事故の発生を踏まえ、市町村と連携しクマ対策を強化 ① (新規) 出没対応訓練 1,426千円 クマ出没時に備えた訓練を実施 ② 麻酔銃不動化支援 1,569千円 クマ出没時に麻酔銃での不動化を実施 ③ 人身被害原因調査 1,148千円 人身被害が発生した場合の原因調査 ④ (新規) 市町村補助 8,105千円 市町村が実施する捕獲、緩衝帯整備、集落体制構築事業に対して補助 ⑤ その他 (捕獲者研修、講演会) 2,112千円
自然環境課		
(新規) 林業イノベーション推進	16,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異業種・異分野の民間企業の参入による林業イノベーションを推進するため、「ぐんま森林・林業イノベーションプラットフォーム」を構築。 ヒアリング等により森林・林業への参入の課題を把握・分析するとともに、企業間交流会やWEB等で参入希望企業と県内の林業関係者をマッチング。
林政課		
(新規) 県産材ブランディング (県産材高規格化プロジェクト)	4,140 債務負担行為 (550)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林業試験場をJAS登録試験業者に登録するための手続きを実施。県産JAS証明材の供給体制を創出することで、公共建築物等での県産材活用を促す。
林政課		
(新規) 木材加工試験 (木材加工流通研究)	2,124	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県産広葉樹材の高付加価値化のため、エレキギター用原板の生産体制構築に向けた音響特性分析や技術開発を実施。 ① 製材技術開発 1,003千円 ギター材の需要に合う木目を見出すための製材技術を開発 ② 音響特性分析 206千円 樹種ごとの音響特性の違いを分析 ③ 乾燥技術開発 915千円 乾燥による木材の変形や狂いを抑えるための技術を開発
林政課		
ぐんまゼロ宣言住宅促進	105,500	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「温室効果ガス排出量ゼロ」を実現するため、県産木材を使用した省エネ・創エネ住宅である「ぐんまゼロ宣言住宅」の普及を目指す。 ① ぐんまゼロ宣言住宅供給促進支援 93,509千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅供給事業者や製材工場が連携してゼロ宣言住宅の供給に取り組むグループに対して支援を実施 ・ 住宅供給支援 86,769千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県産木材の使用量に応じて12,500円/m³を支援 ・ グループコーディネート補助 6,740千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ ぐんまゼロ宣言戸建住宅の供給に取り組むグループのコーディネートに係る経費を支援。 ② 広告宣伝費補助 4,800千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ ぐんまゼロ宣言住宅の普及に係る経費を支援 ・ 補助率1/2、上限300千円 ③ 確認検査委託 5,500千円
林業振興課		

事業名	金額	説明
災害レジリエンス (環境森林部分)	6,692,800	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強く安全安心な暮らしの実現に向けて、自然災害から県民の生命、財産や公共施設等を守るために必要な治山対策や路網整備などの防災減災対策を実施。 ・補助公共事業 <ul style="list-style-type: none"> ・補助公共治山 3,108,000千円 ・農山漁村地域整備(治山) 1,452,000千円 ・補助公共林道 232,800千円 ・単独公共事業 <ul style="list-style-type: none"> ・単独治山 1,900,000千円
林 政 課 森 林 保 全 課		

〈農政部関係〉

単位:千円

事業名	金額	説明
<p>(一部新規) 有機農業推進</p>	<p>176,179</p>	<p>・環境負荷低減・資源循環型農業の最たる農法である有機農業の生産拡大、販売促進及び消費拡大に取り組み、サーキュラー・エコノミー（肥料・飼料の地域内循環）を推進する。</p> <p>①生産拡大 150,523千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一部新規)有機農業生産支援 3,500千円 みどりトータルサポート協議会設置等 ・(一部新規)環境負荷低減・資源循環型農業推進モデル 40,000千円 畜産堆肥を活用する施設整備・機械導入や化学合成農薬に頼らない除草管理に対する補助 ・(一部新規)有機農業等就農サポート強化 22,008千円 有機農業を志向する就農希望者へのサポート強化 ・農林大学校有機農業推進 11,458千円 ぐんま農業実践学校(有機農業コース)及び社会人コース「有機農業専攻(1年制)」運営 ・(新規)有機質資源生産・利活用のための機械等整備 31,713千円 農林大学校において飼料生産用機械を整備 ・(新規)有機栽培研究 14,754千円 有機キュウリ・ナスの施設栽培研究 ・有機養蚕技術体系の確立と新規用途開発 2,220千円 有機桑園管理、有機繭生産 ・有機土壌実態調査 460千円 ・(一部新規)資源循環型畜産総合対策 6,110千円 良質堆肥の安定生産・供給促進 ・有機農業推進 18,260千円 オーガニックビレッジの創出 <p>ほか</p> <p>②販売促進・消費拡大 25,656千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一部新規)県産有機農産物等の販路拡大 17,725千円 都内専門店での県産有機農産物コーナー設置、都内飲食店とのマッチング、オーガニックマルシェ ・有機農業魅力発信 2,414千円 有機農業体験ツアー ・(新規)有機農業教育 1,000千円 児童生徒向け副読本作成 ・有機農業販路拡大 2,537千円 県立特別支援学校等の学校給食 ・有機こんにやく生産・消費拡大 1,980千円
<p>農業構造政策課 米麦畜産課 野菜花き課 蚕糸特産課 ぐんまブランド推進課</p>		

事業名	金額	説明
(一部新規) 農政部施設整備 農政課 米麦畜産課	790,000	<ul style="list-style-type: none"> ・浅間家畜育成牧場研修施設の再整備を実施するとともに、家畜衛生研究所の解剖棟、焼却炉の改修に向けた設計を行う。 ①浅間家畜育成牧場研修施設 785,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業技術を習得した畜産関係従事者確保に向けた研修施設の建設工事及び水道施設整備工事 ②(新規)家畜衛生研究所解剖棟・焼却炉 5,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・施設外への病原体拡散防止の徹底に向けた、解剖棟と焼却炉の一体施設整備を行うための基本設計
(一部新規) 家畜伝染病予防 農政課 米特産課 鳥獣被害対策支援センター	1,581,150	<ul style="list-style-type: none"> ・特定家畜伝染病の発生予防とまん延防止を図り、畜産業の安定経営と畜産物を安定供給するための対策を総合的に実施。 【アフリカ豚熱対策】(新規) 237,100千円 日本への侵入リスクが高まっているアフリカ豚熱について、野生イノシシで発生した場合に備えた対策を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・防疫資材購入(電気防護柵、死体運搬用資材等) 4,000千円 ・死体捜索、回収、消毒ポイント設置 233,100千円 【豚熱対策】 584,072千円 豚熱ワクチン接種や、奨励金上乘せによる野生イノシシ捕獲対策等を継続するほか、野生イノシシの緩衝帯整備により、豚熱対策を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ①豚熱発生予防 268,287千円 <ul style="list-style-type: none"> ・野生イノシシ豚熱検査(1,200頭分) 23,557千円 ・ワクチン接種(165万頭分)、免疫付与検査 244,254千円 ②豚熱に係るイノシシ対策強化 315,785千円 <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な捕獲器具の利用促進 924千円 ・有害捕獲奨励金の交付 103,328千円 ICTを活用し捕獲する市町村に対して、1頭当たり最大8,000円の捕獲奨励金を上乘せ ・緩衝帯整備の実施 211,000千円 移動・出没抑制のための伐木・除草 <ul style="list-style-type: none"> ・河川内の整備 8河川 ・養豚場周辺の整備 3地区 ・ドローン操縦者の人材育成 533千円 パイロットを育成し県主体による生息調査を実施 【鳥インフルエンザ対策】 83,000千円 全国的に発生している高病原性鳥インフルエンザについて、発生予防とまん延防止対策を実施するほか、搬出制限の影響を受けた養鶏農家の損害額を助成。 <ul style="list-style-type: none"> ・消石灰配布 4,500千円 県独自の消毒命令発出時に養鶏農家に配布 ・搬出制限区域内農家等支援 78,500千円 搬出制限による売上減少等の損害を国と県で助成 【共通対策】 76,978千円 アフリカ豚熱、豚熱、鳥インフルエンザに共通した備蓄資材の増強や演習等の対策を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄資材の増強、防疫演習 6,068千円 ・防疫作業オペレーター技能取得 910千円 ・農場バイオセキュリティ向上に向けた設備整備等 70,000千円 【特定家畜伝染病対策調整費】 600,000千円

事業名	金額	説明
(一部新規) ぐんま農業版企業誘致促進 農 業 構 造 政 策 課	70,889	<ul style="list-style-type: none"> 農業経営者の高齢化や遊休農地の増加などの課題に対応するため、新たな担い手として期待される企業や農業法人等の誘致に向け、以下の取組を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ① (新規) ぐんま農業法人等誘致促進モデル 7,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・全国の農業法人等に対する県内参入意向調査を実施するとともに、農地情報等を取りまとめた「農業版企業誘致デジタルパンフレット」を作成 ② 遊休農地再生利用補助 3,889千円 <ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地の再生等にかかる経費の補助を行う事業のうち、企業や農業法人等が行う大規模な農地の再生に対する補助を拡充 ③ 農業経営力向上補助 60,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・認定農業者等に対して施設整備や機械導入を行う事業に企業等参入支援メニューを新設
浅間家畜育成牧場草地・施設整備 米 麦 畜 産 課	220,000 債務負担行為 (200,000)	<ul style="list-style-type: none"> 県内酪農家からの乳用育成牛預託頭数増加の要望に対応するため、採草地、集中管理牛舎等を整備。 <p><計画概要></p> <ul style="list-style-type: none"> 整備内容：草地・集中管理牛舎・堆肥舎等関連施設整備、草地管理機械・牛舎関連機械導入、遊歩道防護柵設置等 事業期間：令和元年度～8年度 総事業費：約32億円 受入頭数：整備前 夏季470頭、冬季330頭 →整備後 通年600頭
(一部新規) 野菜花き生産力強化 (旧「野菜王国・ぐんま」 総合対策) 野 菜 花 き 課	152,000	<ul style="list-style-type: none"> 新たな需要や消費構造の変化に対応した園芸振興を図るため、野菜や花きの生産基盤強化に向けた各種農業用施設や機械等の導入経費等の一部を補助する。 <ul style="list-style-type: none"> 【野菜メニュー】 143,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ① 大規模経営体育成 42,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・認定農業者が企業的経営へとステップアップするための施設及び機械の整備を支援 ② (一部新規) 小規模経営体の生産力向上 16,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・組織的に野菜生産に取り組む産地及び小規模経営の認定農業者の施設及び機械の整備等を支援 ③ (新規) 販売額・労働生産性向上 15,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・販売額や労働生産性向上を目指す認定農業者の施設及び機械(先端技術等)の整備等を支援 ④ いちご生産拡大サポート 70,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・いちご生産拡大のため、生産施設及び農作業機械の整備等を支援 【花きメニュー】 (新規) 9,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ① 高温対策 6,500千円 <ul style="list-style-type: none"> ・高温など異常気象に負けない栽培につながる施設及び機械の整備を支援 ② 生産力向上 2,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・データ駆動型農業、品質向上や省力化等につながる施設及び機械の整備を支援 ③ 販売力向上 500千円 <ul style="list-style-type: none"> ・販路拡大を目的とした商談会等の開催や商品価値の高い品種育成の取組を支援

事業名	金額	説明
フラワーパーク改修	435,042	<ul style="list-style-type: none"> ・ R 7年秋のリニューアルオープンに向けて、改修工事等を実施。 ①改修工事費 300,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・HIDAMARI（ミュージアム）の設計・改修工事 ・デジタルアートのシステム構築・機材費 ②オープニングイベント費用等 9,389千円 <ul style="list-style-type: none"> ・オープニングイベント、PR動画制作等 ③リニューアルオープン延期に伴う指定管理料 125,653千円 <ul style="list-style-type: none"> ・休園期間中の植栽管理及びオープン準備等
野菜花き課		
(新規) こんにゃく需給安定対策	18,435	<ul style="list-style-type: none"> ・こんにゃくいもの需給バランスの安定により、生産農家の経営安定を図るため、複合作物の導入や消費拡大に向け、以下の取組を実施。 【こんにゃく複合経営促進】 16,200千円 <ul style="list-style-type: none"> ①こんにゃく複合作物導入 10,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな複合作物の生産に取り組むのに必要な農業機械の導入経費を補助 ・補助率：1/2以内 ・補助上限：2,000千円 ②環境にやさしいこんにゃくいも生産 6,200千円 <ul style="list-style-type: none"> ・クロロピクリン剤（土壌中の病害虫を防除する農薬）の使用面積割合を50%以下とすることを条件に、こんにゃくいも生産に必要な農業機械の導入経費を補助 ・補助率：1/2以内 ・補助上限：2,000千円 【こんにゃく消費拡大】 2,235千円 <ul style="list-style-type: none"> ①次世代につなぐ「ぐんまのこんにゃく」 1,365千円 <ul style="list-style-type: none"> ・県内小学校10校（こんにゃくいも生産の盛んな5市町村（昭和村、渋川市、沼田市、富岡市、東吾妻町）から各2校）を対象にこんにゃく講座を実施するとともに、こんにゃく手作りキット（ぐんまちゃんの型付き）を配布 ②消費者向け講演会・試食販売会の開催 870千円 <ul style="list-style-type: none"> ・こんにゃくの健康効果や「おいしいこんにゃく」を消費者へ周知するため、講演会や試食販売会を開催
蚕糸特産課		
(一部新規) 鳥獣被害対策支援	688,278	<ul style="list-style-type: none"> ・農林漁業者が効果を実感できるよう、関係部局が連携しながら対策を推進。 ①捕獲推進（捕る対策） 427,886千円 <ul style="list-style-type: none"> ・生息状況調査、適正管理計画の策定・推進 32,513千円 ・指定管理鳥獣捕獲等事業 86,809千円 ・市町村が実施する有害鳥獣捕獲に係る経費の補助 245,371千円 ②防護対策、生息環境管理（守る対策） 225,616千円 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害防止総合対策交付金（国1/2以内、定額） ※市町村が実施する侵入防止柵の整備等を支援 29,300千円 ・小規模農村整備事業、農地耕作条件改善事業 61,106千円 ・移動抑制のための河川内伐木・刈払 40,000千円 ③調査・研究、人材育成（知る対策） 34,776千円 <ul style="list-style-type: none"> ・被害対策に携わる人材の体系的育成 1,724千円 ・日獣医大との連携による被害対策推進 9,000千円 ・ジビエ（シカ）利活用 9,151千円 ・（新規）クマゾーニング管理に向けた調査 10,414千円
自然環境課 林業試験場 蚕糸特産課 農村整備課 鳥獣被害対策支援センター 河川課		

事業名	金額	説明
(一部新規) G-アナライズ&PR 林業振興課 米麦畜産課 ぐんまブランド推進課	67,809	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県産農畜産物を分析して強みや特長を把握し、その価値を消費者に的確に伝えることで「選ばれ続ける」ブランドを構築し、安定的な需要の創出と農家所得の向上を図る。 ①成分分析 13,706千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 強みや特長の把握及び品質の高位安定化に向けた分析 分析品目：マイタケ、県育成新品種（イチゴ・ナシ） ②販売促進 22,844千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ メディアミックスによる県産農畜産物プロモーション 11,244千円 ・ (新規) こんにやく消費県民運動 6,500千円 こんにやく消費拡大に向けた県内飲食店及び宿泊施設におけるキャンペーンの実施 ・ (新規) 群馬県農業統一ロゴマーク&認証制度 5,100千円 全県統一的な県産農畜産物のPRを推進するための現行ロゴマーク改訂及び県産農畜産物のブランド発信力強化のための新たな認証制度の創設 ③生産振興（上州地鶏生産拡大推進） 31,259千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ (新規) 畜産試験場の素ビナ増産のための機械等整備 22,000千円 ・ 肥育農場の生産拡大に向けた設備整備補助 9,259千円 ・ 補助率：1/2
(一部新規) 農畜産物等輸出促進 ぐんまブランド推進課	48,295	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「群馬県農畜産物等輸出促進戦略」に基づき、県産農畜産物等の認知度向上、輸出品目・量・金額の拡大につなげることを目的に、中長期的な視点で輸出拡大に向けた取組を実施。 ①台湾向け青果物等輸出促進 9,927千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地PR販売、バイヤー招へい商談会、輸入規制対応 ②香港向け青果物等輸出促進 5,584千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地PR販売、バイヤー招へい商談会 ③欧州における上州和牛プロモーション 13,922千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ カuttingセミナー、上州和牛フェア ④ “日本の食品” 輸出EXPO出展 7,534千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸出に特化した国際食品見本市への群馬県ブース出展 ⑤ぐんまグローバルファーマー育成塾 3,355千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ セミナー開催、(新規) 輸出に向けた個別支援、輸出向け生産支援 ⑥ぐんまEXPORTサポート補助 2,500千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農畜産物等の輸出に取り組むための経費の一部を補助 (補助率1/2) ⑦(新規) 海外における知的財産保護・活用 4,768千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 群馬県農業統一ロゴマーク&認証制度の商標を海外でも登録し、農畜産物の輸出を促進 など

事業名	金額	説明
(新規) 粉末化プロジェクト推進 農業構造政策課 ぐんまブランド推進課	35,419	<ul style="list-style-type: none"> ・粉末化のメリットを活かした県産農産物の用途拡大、高付加価値化に取り組み、農業者の所得向上と県産農産物のイメージアップを図る。 ①農林大学校有機農産物等の有効活用 12,007千円 <ul style="list-style-type: none"> ・農林大学校における粉末化技術の確立による有機農産物の活用と人材育成を強化するため、農産物の粉末化に関わる実習機器整備 ②群馬版スーパーフード事業 23,412千円 <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーフードPRに向けた調査 15,000千円 群馬県を「スーパーフードの里」としてプロモーションするため、科学的根拠の収集やマーケティング調査等を実施 ・農産物粉末の成分分析 1,412千円 健康意識の高い消費者に対して客観的なエビデンスに基づいた訴求を行うため、生鮮との比較などの成分分析 ・農産物粉末製品プロモーション 7,000千円 既存農産物粉末製品を集めたオリジナルセットを作成し、プロモーションを実施
災害レジリエンス (農政部分) 農 村 整 備 課	1,289,720	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強く安全安心な農村づくりに向けて、自然災害から農業への被害を軽減するための対策や、県民の生命、財産や公共施設等を守るために必要なため池の補強などの防災減災対策を実施。 ・補助公共事業 <ul style="list-style-type: none"> ・農村地域防災減災 849,020千円 ・農村集落基盤再編・整備 250,000千円 ・農業水路等長寿命化・防災減災 42,800千円 ・単独公共事業 <ul style="list-style-type: none"> ・単独農村整備(防災重点農業用ため池等緊急整備等) 147,900千円
小規模農村整備 農 村 整 備 課	640,000	<ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助事業の要件に満たない小規模な農業生産基盤の保全・整備や鳥獣害防止施設の整備など、農村地域の多様なニーズに対応したきめ細かな支援を実施。 ・事業主体：市町村、土地改良区等 ・事業メニュー <ul style="list-style-type: none"> ①農業生産基盤保全整備（ほ場整備、農業用排水施設等） ②農村地域保全整備（災害復旧等） ③特別対策（鳥獣被害防止施設等） ・補助率：1/3～1/2 <ul style="list-style-type: none"> ・農業用施設災害復旧のみ65% ・「①農業生産基盤保全整備」については、事業実施後3年以内に担い手等への農地集積率が現状から10%以上増加することが確実と見込まれる場合、補助率を10%加算

〈産業経済部関係〉

単位:千円

事業名	金額	説明
(新規) ぐんま賃上げプロジェクト 産業政策課	3,000,000	<ul style="list-style-type: none"> ・物価上昇を超える力強い賃上げを行う県内中小企業等を支援するとともに、国の施策と連携し、賃上げ原資となる付加価値増加のための積極的な設備投資を支援。 ①ぐんま賃上げ促進支援金 2,700,000千円 対象期間：令和7年4月1日以降の賃上げ (令和7年11月30日まで) 対象企業：県内に事業所を有する中小企業等 補助対象：正規雇用及び週所定労働時間20時間以上の非正規雇用労働者 要件：①対象期間の補助対象従業員賃金を前年同月比5%以上引き上げ ②法人の場合、パートナーシップ構築宣言の宣言企業であること ③引き上げ後の賃金水準を1年間継続 等 支給金額：5万円/人 (1事業所100万円が上限 (20人分)) ※県全体で5万人が上限 ②ぐんま生産性向上等支援補助金 300,000千円 賃上げ要件等を満たした中小企業が実施する国のものづくり補助金採択事業について、自己負担額の1/2を補助 要件：①ものづくり補助金に採択されていること ②従業員賃金を6%以上引き上げ 補助上限：300万円 ※賃上げ促進支援金との併用可
(一部新規) ぐんまネクストジェネレーター 産業政策課	20,000	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲ある若者が、県内中小企業の経営や課題解決に挑戦できるプログラムを提供。 ①ぐんまネクストジェネレーター (採用型) ・新卒・第二新卒の意欲ある若者が期間限定 (2年間) で県内中小企業の事業責任者として就職。 (トライアル型) ・起業を目指す大学生・大学院生に県内企業の現場でのフィールドワークをコーディネート。 学生は、受入企業の課題解決に資する提案・実装を実施。 ②(新規)事前研修・交流会 ・マッチング率・事業効果を上げるため、経営者と学生の事前交流会及び、経営知識・実践力を身につける学生向け事前研修を実施。

事業名	金額	説明
全県リビングラボ推進	186,910	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術を活用した新たなビジネスが群馬県から次々と創出される環境（全県リビングラボ）を整備。 ①実証フィールドの発掘・発信 3,854千円 公有施設（道路・河川・公園など）、民間施設（駅・オフィス・工場など）を実証フィールドとして登録・情報発信することで、群馬県での新たな実証機会を創出。 ②共創プロジェクトの創出 183,056千円 デジタル技術を活用した新たなビジネス創出のための社会実証プロジェクトの創出を支援。 ・異業種連携/共創推進のためのワークショップ等 7,700千円 ・実証プロジェクトへの補助 ・ぐんま未来共創トライアル補助金 175,000千円 ・補助上限 30,000千円、補助率2/3 【加算】県内への事務所移転加算 上限3,000千円 スタートアップ加算 2,000千円（定額） ・審査会等事務費 356千円
未来投資・デジタル産業課		
特別高圧電力価格高騰対策支援	115,228	<ul style="list-style-type: none"> 国の電気料金引き下げの対象となっていない特別高圧電力を使用する中小企業に対し、支援を実施。 ・支援金 115,228千円 支援期間：R6.8月～10月、R7.1月～3月 支援単価：【R6.8月～10月】 中小企業 1.0円/kWh（10月分は0.7円/kWh） 【R7.1月～3月】 中小企業 0.7/kWh（3月分は0.4円/kWh）
未来投資・デジタル産業課		
（新規） スタートアップと県内企業 等との共創プロジェクト	35,600	<ul style="list-style-type: none"> ・トップ外交で関係性を構築したEIT（※）と連携し、スタートアップと企業のマッチングを支援。県内企業の新規事業開発・課題解決につなげるとともに、県内スタートアップのステージアップを目指す。 ※EIT EUを母体とする世界最大級のスタートアップ支援機関 ・連携事業の実施 35,600千円
未来投資・デジタル産業課		

事業名	金額	説明
制度融資	136,436,388 債務負担行為 (310,000) (中小企業振興 資金特別会計)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内中小企業の経営安定や前向きな取組を金融面から支援。 ・ 資金数・総融資枠：9資金、1,000億円 (R6-9資金、1,200億円) ※日本銀行の政策金利の上昇を受け、各資金の上限金利を原則0.1%引き上げるが、物価高騰等に苦しむ中小企業を支援するため、以下資金は特例金利を設定 ①経営サポート資金 500億円 (物価高騰等経済対策資金を新設) 物価高騰等で苦しい事業者の資金繰りを支援するとともに、新型コロナ関連融資の借換にも対応。 金利：1.8%→特例的に1.5%に引き下げ ②中小企業パワーアップ資金 35億円 生産性向上のための新たな設備投資など企業の収益拡大のための取組を支援 金利：1.6%～1.8%→特例的に1.5～1.7%に引き下げ
地域企業支援課		
次世代モビリティ産業参入支援	46,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車産業界における中長期的なEVシフトへ向けて、自動車サプライヤー支援センターによる県内企業への支援を継続し、ビジネス環境の変化に対応していくための提案力と企業変革力のある地域サプライヤー群を育成。 ・ 専任コーディネーター配置 (3名) 29,690千円 ・ デジタル人材育成講座 4,072千円 ・ EVティアダウン (分解) ワークショップ 11,215千円 ・ 技術マッチング 1,023千円
地域企業支援課		
(新規) ぐんまの地酒振興	32,800	<ul style="list-style-type: none"> ・ 群馬県を日本酒の新たなネツゲンとするべく、「良質な県産酒米の生産・供給体制の確立」と「群馬の日本酒の認知度向上」に両輪で取り組む。 ①生産・供給体制強化 9,800千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 酒米分析機器購入 9,500千円 ・ 酒米農家の表彰制度創設 300千円 ②認知度向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模日本酒フェス開催 23,000千円 県内外の酒蔵を一堂に集め、地域食材との組み合わせなど日本酒の様々な楽しみ方を提案する大規模イベントを実施
地域企業支援課		
(一部新規) リスクリング推進	21,576	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業構造の転換を見据え、企業主体のリスクリングを支援するとともに、県内企業の生産性向上・構造的賃上げを進めるため、経営層向けにリスクリングの重要性や好事例を学ぶための取組を拡充して実施。 ①DX推進人材育成リスクリング・モデル企業創出 10,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ モデル企業の事業計画等を踏まえ、DX人材の育成に向けたリスクリングを伴走支援。モデル企業の取組から創出された好事例を広く発信。 ②(新規) リスクリング事例共有促進 11,576千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営層及び人材育成責任者向けの勉強会や好事例共有のための交流会を実施し、県内中小企業が自発的にリスクリングに取り組む環境を整備。
労働政策課		

事業名	金額	説明
(新規) 企業向け人材確保相談窓口 設置	15,000	<ul style="list-style-type: none"> 県内企業の人材確保・定着を支援するため、企業向けワンストップ相談窓口を新たに設置 設置日：令和7年10月（予定） 設置場所：ジョブカフェぐんま高崎センター内 人員体制：企業支援アドバイザー3名 相談内容：企業の人材確保、定着などに関すること
労働政策課		
(一部新規) リトリート推進	387,752	<ul style="list-style-type: none"> 心と身体を癒やす滞在型観光の一大拠点となるため、持続可能な観光地域づくりのための基盤整備や高付加価値なコンテンツの創出を行うほか、戦略的なプロモーションを実施。 ①リトリート基盤整備推進 360,865千円 <ul style="list-style-type: none"> リトリート環境整備（ハード事業） 325,731千円 <ul style="list-style-type: none"> 地域の関係者が行う面的なリトリート環境の整備を支援 補助率1/2（上限：100,000千円） 長期滞在客等受入促進（ソフト事業） 30,134千円 <ul style="list-style-type: none"> 地域が取り組むコンテンツ創出の動き出しを支援 補助率1/2（上限：5,000千円） 長期滞在客等受入促進伴走支援 5,000千円 ②リトリートブランド構築 26,887千円 <ul style="list-style-type: none"> （一部新規）リトリート商品磨き上げ及び販売促進 7,922千円 ブランディング強化へ向けた情報発信 18,965千円
観光魅力創出課		
(一部新規) ペットツーリズム推進	12,512	<ul style="list-style-type: none"> ペットツーリズムを推進するため、令和6年度に実施した調査・研究を踏まえた受入体制整備やプロモーションを実施。 ①（新規）市町村・事業等向け説明会 1,227千円 ②（新規）拠点づくり・コンテンツ造成のための実証 5,993千円 ③専用ウェブサイトの運用・保守 5,292千円
観光魅力創出課		
インバウンド誘客促進	52,392	<ul style="list-style-type: none"> 外国人旅行者の誘客促進に向け、インバウンド受入のための基盤整備を進めるとともに、高付加価値コンテンツの創出や認知度向上に向けたプロモーションを実施。 ①多言語観光ウェブサイトの運用・拡充 25,944千円 ②インバウンド向け交通チケットデジタル化推進 6,600千円 ③サステナブル国際認証及び表彰取得支援 9,968千円 ④高付加価値型体験コンテンツ創出支援 9,880千円
観光魅力創出課		
(一部新規) ユニバーサルツーリズム推進	3,081	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルツーリズムを推進するため、相談窓口の運営及びセミナー等を継続して実施するとともに、特設サイトにモデルコースや事例集等を掲載するなど、更なる情報発信の強化を実施。 ・（一部新規）モデルコース等掲載のための特設サイト改修 3,081千円
観光魅力創出課		

事業名	金額	説明
(一部新規) 群馬県観光物産国際協会運営費補助	190,702	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県観光物産国際協会が、地域の観光地域づくり法人として観光振興、物産振興及び国際交流事業を実施するために必要な運営費を補助。
観光魅力創出課		<ul style="list-style-type: none"> ①観光物産国際協会協会運営費 47,133千円 ②(一部新規)データマーケティング 50,810千円 ③(一部新規)インバウンド誘客 57,359千円 ④(新規)観光人材確保 15,000千円 ⑤山岳観光 10,400千円 ⑥観光統計整備委託 10,000千円
eスポーツ推進	56,676	<ul style="list-style-type: none"> eスポーツ先進県としての認知度向上や地方創生を進めるとともに、eスポーツを活用した地域コミュニティ内の活動支援を推進。
eスポーツ・クリエイティブ推進課		<ul style="list-style-type: none"> ①「U19eスポーツ選手権2025」の開催 37,000千円 ②「第5回全日本eスポーツ実況王決定戦」の開催 8,300千円 ③群馬ならではのキーコンテンツの確立 4,700千円 ④地域コミュニティ内の活動支援 6,676千円 GUNMA LEAGUE(社会人向けeスポーツの大会)の開催、教育的eスポーツ ほか
(一部新規) クリエイティブ推進	346,871	<ul style="list-style-type: none"> 日本一のデジタルクリエイティブ人材輩出県を目指し、国際的に評価の高いTUMOセンターのプログラムを導入したTUMO Gunmaを運営し、群馬県独自の取組であるtsukurunと連携することで、群馬のデジタルクリエイティブ人材育成体制の拡充・発展を図る。
eスポーツ・クリエイティブ推進課		<ul style="list-style-type: none"> ①(一部新規)TUMO Gunmaの新設・運営 254,622千円 中高生向けにアルメニアのTUMOセンターの人材育成プログラムを導入したTUMO GunmaをGメッセ群馬に開設し、運営する ②(一部新規)tsukurunの運営・横展開 77,527千円 tsukurun運営委託、出張tsukurun、tsukurun TAKASAKI 運営 ほか ③クリエイティブ活躍支援(土壌づくり) 14,722千円 tsukurunデジタルクリエイティブコンテスト開催、デジタル映像人材育成事業、生成AIを活用したコンテンツ制作 ほか
(一部新規) クリエイティブ拠点化	38,470	<ul style="list-style-type: none"> 「クリエイティブの拠点化」を目指し、Gメッセ群馬の今後の整備に向けた各種調査等を実施するとともに、クリエイティブ関連企業の移転促進を実施。
eスポーツ・クリエイティブ推進課		<ul style="list-style-type: none"> ①(新規)Gメッセ群馬整備促進 20,000千円 Gメッセ群馬のクリエイティブ拠点化に向けた各種調査を実施 ②(新規)基本構想のPR動画等作成 5,000千円 令和6年度に策定するGメッセ群馬クリエイティブ拠点化基本構想のPR動画等を作成 ③(新規)産学官連携 3,800千円 県内企業や専門学校と連携し、民間リソースを活用した産学官連携体制を構築する ④クリエイティブ産業移転促進補助金 8,000千円 クリエイティブ企業の県内への移転に対しオフィス賃料を補助(上限:2,000千円) ⑤トップセールス、招へい 1,670千円 知事によるクリエイティブ企業へのトップセールスや制作会社の招へいを実施

事業名	金額	説明
映像制作サポート	270,602	<ul style="list-style-type: none"> ・クリエイティブ拠点化のためのエコシステム構築に向け、更なるロケ誘致を図るとともに、映像制作支援体制の強化を実施。 ①ぐんまフィルムコミッション運営 19,079千円 ②クリエイター活動支援 29,400千円 意欲ある映像クリエイターの育成・集積を図るため、県内での映像作品制作の支援等を実施 ③映像制作インセンティブ実証 220,363千円 大型作品を県内に誘致するとともに、経済効果等を把握するため、制作会社が映画やドラマ等で県内事業者へ支出する制作費に対し補助を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・補助率1/2（上限：20,000千円） ※Gメッセ群馬の展示ホールをスタジオ利用した場合は10%加算
eスポーツ・クリエイティブ推進課		④ロケ地マップ作成 1,760千円

事業名	金額	説明
災害レジリエンスNo. 1 の実現	20,199,577	<ul style="list-style-type: none"> ・気候変動の影響等により、水害等の気象災害が頻発化・激甚化する中で、気象災害の新たな脅威にしっかりと対応できる「災害レジリエンスNo. 1」の実現に向け、市町村、民間企業や県民等との連携・共創によるオール群馬での防災・減災対策を加速させる。また、能登半島地震を踏まえた孤立集落対策などの大規模災害を想定した事前防災を推進する。 ①オール群馬による水害対策の加速化・高度化（流域治水の推進） 4,314,122千円 <ul style="list-style-type: none"> ・氾濫対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・利根川(前橋市、高崎市、伊勢崎市、玉村町)、碓氷川(高崎市、安中市) ほか ・特定都市河川雨水貯留浸透施設整備費補助(太田市、千代田町、大泉町) ②大規模災害を想定した事前防災の推進 15,520,356千円 <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害リスクを軽減させる防災インフラ整備 <ul style="list-style-type: none"> ・土石流対策 奈女沢(みなかみ町) ・がけ崩れ対策 はるな郷A(高崎市) ・地すべり対策 中関地区(安中市) ほか ・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・孤立集落の発生リスクを軽減する強靱な道路 <ul style="list-style-type: none"> 県道会場鬼石線(藤岡市) 県道沢入桐生線(桐生市) ほか ・防災・物流拠点集積エリア間を結ぶ強靱な道路 <ul style="list-style-type: none"> 上信自動車道(吾妻東バイパス ほか) 西毛広域幹線道路(高崎工区 ほか) ・防災・物流拠点集積エリア内の主要拠点を結ぶ強靱な道路 <ul style="list-style-type: none"> 渡良瀬幹線道路(塩原工区 ほか) ・住宅・建築物の耐震化・減災化の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅の耐震化・減災化促進 ・大規模建築物の耐震化促進 ほか
監 理 課 建 企 課 道 設 管 画 道 路 整 理 河 砂 川 備 都 防 備 建 築 課		<ul style="list-style-type: none"> ③「逃げ遅れゼロ」に向けた避難のサポート 365,099千円 <ul style="list-style-type: none"> ・水害・土砂災害に対する避難行動の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・マイ・タイムラインの作成支援 ・土砂災害警戒区域等の見直し ・住民主体の防災マップの作成や避難訓練の支援 ほか

事業名	金額	説明
未来につながる魅力的なまちづくり 監 理 課 建 企 課 道 路 管 整 課 都 市 計 画 課 都 宅 整 備 課 住 政 策 課	12,483,599	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少と高齢化が同時に進行する局面においても、誰もが生活に必要な都市機能を持続的に享受できるよう、広域的な観点から市町村のまちづくり構想を支援し、誰もが地域に魅力を感じ、幸福を実感できるまちづくりを実現する。 ①エリア価値を創造する未来投資 3,750,600千円 <ul style="list-style-type: none"> ・個性を活かした地域のリーディングプロジェクトの推進 ・県庁～前橋駅クリエイティブシティ構想 ほか ②持続可能で暮らしやすいまちづくり 320,052千円 <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが暮らしやすい居住環境づくり ・土地区画整理事業負担金 ほか ・地域の誇れる景観づくり ・道路景観整備 (国道292号 浅間・白根・志賀さわやか街道) ほか ③地域の暮らしや経済活動を支えるインフラ整備 4,962,561千円 <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動を支える物流・人流ネットワークの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・県道苗ヶ島飯土井線(波志江飯土井工区) ・県道昭和インター線(森下工区) ・国道120号(下平工区) ほか ・まちのまとまりをつなぐ都市間連携ネットワークの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・(都)前橋長瀬線(高崎工区) ほか ・地域の暮らしを支える域内道路整備 <ul style="list-style-type: none"> ・県道伊勢崎深谷線(茂呂町二丁目交差点) ・県道太田大間々線(阿左美岩宿交差点) ほか ④誰もが安全に移動できる環境づくり 3,450,386千円 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが安心して通学できる環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・(都)敷島公園大師線(2期工区) ・県道井野停車場線(井野町工区) ほか ・中高生が安心して通学できる環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・自転車通行空間の整備 ほか
(新規) 自動車ドライバー向け 自転車事故対策 道 路 管 理 課	27,500	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生の自転車事故を減少させるため、自動車ドライバー向けの自転車事故対策を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・メディアプロモーション 20,000千円 ・交通安全キャラバン隊による街頭啓発活動 5,000千円 ・デイライト試験導入 2,500千円 自転車用LEDライトをモデル校に配布し、デイライト(日中も自転車のライトを点灯させる取組)の効果を検証。

事業名	金額	説明
(新規) 特定都市河川雨水貯留浸透 施設整備費補助 (再掲)	15,000	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者が実施する特定都市河川流域内における雨水貯留浸透施設(調整池など)の整備費の一部を、市町村と協同して補助。 ・補助対象: 500m³以上の雨水貯留浸透施設 ・補助率: 県1/6(国1/3、市町村1/6、民間事業者1/3) (県の補助上限額2,500千円/1施設) <p>※令和元年東日本台風により大規模な浸水被害が発生した休泊川流域(太田市、千代田町、大泉町)を、令和5年12月に特定都市河川に指定。指定により、1,000m²以上の開発行為を行う場合は、雨水貯留浸透施設の設置が義務化されたため、令和7~9年度の3年間、補助を実施。</p>
河 川 課		
敷島公園新水泳場整備	3,450,600	<ul style="list-style-type: none"> ・令和10年度の供用開始に向け、施設整備を進める。 ①敷島公園新水泳場整備運営事業(PFI方式) 3,425,600千円 <ul style="list-style-type: none"> ・実施設計、建設工事等 ②関連事業 25,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・PFI事業のモニタリング等
都 市 整 備 課		
単独街路 (県庁~前橋駅クリエイ ティブシティ構想) (再掲)	70,000	<ul style="list-style-type: none"> ・県庁~前橋駅間のメインストリートを、歩行者と公共交通を中心とするウォークアブルで賑わいのある道路空間とするため、令和6年度に実施している国際デザインコンペにより決定する都市空間デザインに基づく基本設計等を実施。 ・基本設計 50,000千円 都市空間デザインに基づき、道路及び県民広場の基本設計を実施。 ・周辺道路影響調査 20,000千円 都市空間デザインの実現に向けた社会実験などを実施。
都 市 整 備 課		

〈教育委員会関係〉

単位:千円

事業名	金額	説明
非認知能力の評価・育成	50,270	<ul style="list-style-type: none"> ・非認知能力の評価・育成に向けて、海外共同研究やSSESの詳細分析等により得られた知見を深め、SEL群馬モデルの令和8年度末の完成を目指す。 ※SSES…OECDが実施する社会情動的スキル（感情のコントロール、他者との協働、目標の達成といった力）に関する調査。 ※SEL…社会情動的スキルを身に付けるための学習。 <ul style="list-style-type: none"> ①専門家委員会運営 764千円 ②指定校での実践研究 9,586千円 ③SSESの詳細分析 3,532千円 ④群馬県とスコットランドとの共同研究 35,388千円 ⑤国際バカロレアのワークショップ参加 1,000千円 ※国際バカロレア…国際バカロレア機構が提供する国際的な教育プログラム。世界の複雑さを理解して、そのことに対処できる生徒を育成し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身につけさせることをねらいとしている。
(教) 総務課		
(一部新規) 教育DX推進自走支援事業 教育イノベーション推進体制構築	41,046	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村による小中学校のDX自走体制構築を支援するため、教育DX推進ファシリテーターを配置し、市町村教育委員会や市町村が配置するICT支援員に対して研修会等を実施。また、デジタルクリエイティブに興味関心がある児童生徒に対して、tsukurunやTUMOの利用促進を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ①(新規)教育DX推進ファシリテーターによる支援 40,587千円 <ul style="list-style-type: none"> ・研修会、ICT活用好事例の周知、ICT支援員の 人材紹介、tsukurun・TUMO利用促進等 ②デジタル教育推進アドバイザー委嘱・ICT教育推進研究協議会運営 459千円
(教) 総務課		
(新規) 小中学校等のデジタル基盤整備	500,000	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校教職員の校務の効率化と負担軽減を図り、教育データの利活用を進めるために、県域でICT環境を統一。群馬県がデジタル基盤（校務支援システム等）を共同調達し、共通の仕組みを構築。 <ul style="list-style-type: none"> ・校務支援システム 220,000千円 ・汎用クラウドサービス 230,000千円 ・保育ICTシステムの感染症システム連携実証 50,000千円 <p>保育所等において、保護者が利用する欠席連絡情報システムを、国の感染症システムへ自動連携する機能について実証を行う。</p>
(教) 総務課 こども・子育て支援課		

事業名	金額	説明
群馬県公立学校1人1台端末等整備 (教) 総務課 管 理 課	4,982,230 債務負担行為 (39,494)	<ul style="list-style-type: none"> 国庫を財源として造成した基金を活用し、公立小中学校及び県立学校（義務教育段階）に整備した1人1台端末等を更新。 ①予算額 <ul style="list-style-type: none"> 1人1台端末更新 4,955,806千円 30市町村、県立学校19校 入出力支援装置購入 5,020千円 桐生市、県立特別支援学校 都道府県事務費等 21,404千円 ②対象等 <ul style="list-style-type: none"> 1人1台端末更新 基準額5.5万円/台（補助率2/3） 入出力支援装置 点字、視線、音声入出力装置等（補助率10/10） 事業期間 令和6年度～令和10年度予定
(新規) 大規模災害における児童生徒帰宅困難対策 管 理 課 健 康 体 育 課	47,805	<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害発生時、道路の寸断や公共交通機関の運休により、帰宅困難となった県立学校の児童生徒及びその対応にあたる教職員に対して、必要となる物資を整備。 整備内容 <ul style="list-style-type: none"> 生活物資（簡易トイレ、アルミ保温シート等） 16,633千円 非常用設備（防災発電機、LEDランタン） 20,659千円 職員用食糧（非常食、飲料水） 10,513千円
沼田・利根地区新高校整備 管 校 理 課 高 校 教 育 課	818,570	<ul style="list-style-type: none"> 沼田高等学校の開校に伴い、共学化、施設の老朽化等に対応するため、武道場の改築工事及び備品等の整備を実施。 武道場改築工事費 779,680千円 教育環境整備費 8,651千円 グラウンド整備等設計委託費 30,239千円
伊勢崎特別支援学校整備 管 理 課 特 別 支 援 教 育 課	1,701,647 債務負担行為 (1,111,529)	<ul style="list-style-type: none"> 伊勢崎特別支援学校の教室不足や老朽化を解消するため、施設整備を行うとともに、高等部を新たに設置し、地域の医療的ケア機能の集約等、再編整備を実施。 工事監理業務委託費 40,190千円 北棟、南棟建設工事費 1,661,457千円 (R7～8の2か年で実施。R8債務負担行為 1,111,529千円)
県立高等学校特別教室空調設備整備 管 理 課	19,705 債務負担行為 (876,000)	<ul style="list-style-type: none"> 夏季の熱中症対策のため、県立高校の特別教室等に空調を整備し、安心・安全で快適な教育環境を確保。 R7～8の期間に優先度が高い138室にリース契約により設置 リース料総額 876,000千円 (R8～20) R5～6年度導入空調電気代 19,705千円

事業名	金額	説明
県立学校体育館空調設備整備 管 理 課	1,367,020	<ul style="list-style-type: none"> 授業や部活動時の熱中症対策や避難所利用時の環境改善を図るため、県立高校及び県立特別支援学校の体育館に空調を整備。 県立高校の体育館アリーナへの設置工事（17棟分） ※避難所の機能向上のため、停電対応型LPガス空調を1施設に導入 R8年度に設置する空調の設計委託（17棟分）
（一部新規） ぐんま教育ビジョン実現PJ 旧：ニューノーマル GUNMA CLASS PJ	643,750	<ul style="list-style-type: none"> 少人数学習によるきめ細やかな指導に加え、主体的な学びの体制づくりのために、学校事情や学校運営方針に応じて、県独自に実施している少人数学級編制に加え、複数担任制などについて選択可能とする制度に見直し。 〈実施体制〉 <ul style="list-style-type: none"> 小学校1・2年で30人以下学級、中学校35人以下学級に必要な教員数を確保。 学校の判断により、少人数学級編制にするのではなく、複数担任制などの選択も可能とする。
学 校 人 事 課		
スクール・サポート・スタッフの活用と障害者雇用促進対策	762,549	<ul style="list-style-type: none"> 障害者雇用により、市町村立学校にスクール・サポート・スタッフを、県立学校等に会計年度任用職員を事務補助者として配置し、教員が児童生徒への学習・生活指導等の本来業務に専念できる環境を整え、学校現場の負担軽減を図るとともに、障害者が能力を十分に発揮できる場を整備する。 <市町村立学校> <ul style="list-style-type: none"> スクール・サポート・スタッフ 130人 <教委事務局内・県立学校> <ul style="list-style-type: none"> 会計年度任用職員 124人
学 校 人 事 課 (教) 総 務 課		
多様な専門人材と協働した児童生徒の課題解決 （スクールカウンセラー配置・スクールソーシャルワーカー配置）	336,100	<ul style="list-style-type: none"> 悩みを抱える児童生徒や保護者の心のケアを図るため、心理の専門家としてスクールカウンセラーを配置。また、児童生徒を取り巻く環境面の問題に対応する学校の支援体制を充実させるため、スクールソーシャルワーカーを配置。 ①スクールカウンセラー等配置 306,139千円 県内小中高等学校等に配置し児童生徒の心のケアを充実。 ②スクールソーシャルワーカー配置 29,961千円 巡回型スクールソーシャルワーカーの報酬額の増額や、人員を32名から50名に増員することで、ヤングケアラーへの対応等を強化。
義 務 教 育 課 高 校 教 育 課		
（新規） 多様な専門人材と協働した児童生徒の課題解決 （スクールロイヤー活用）	6,200	<ul style="list-style-type: none"> 学校における多様化・複雑化する生徒指導事案等に対応するため、スクールロイヤー（SL）を設置し、各学校が直接弁護士に相談できる体制を構築。 ①県立高等学校等 3,700千円 <ul style="list-style-type: none"> SL 5名、SLスーパーバイザー 1名 ②公立小中学校 2,500千円 <ul style="list-style-type: none"> SL 3名、SLスーパーバイザー 1名
義 務 教 育 課 高 校 教 育 課 特 別 支 援 教 育 課		

事業名	金額	説明
地域・全国から選ばれる学校づくり	6,618	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立孺恋高校において、学校の魅力化や入学者数の増加を図るため、令和7年度から3年間かけて、地域人材や外部機関と連携した新カリキュラムを展開し、「地域・全国から選ばれる学校」のモデルづくりを行う。 ・ 新カリキュラムの外部連携先等を開拓、全国募集の広報活動など 6,618千円 （（一財）地域・教育魅力化プラットフォームに委託して実施） ※R4～R6にかけて新コース・カリキュラムを検討の上、新コース（未来創造コース、探究アスリートコース）を設置し、R7年度から生徒の受入れを開始
高校教育課		
(一部新規) ぐんまDXハイスクール	140,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICTを活用した情報、理数教育等の学びを強化する学校に対して、必要な環境整備等を支援するとともに、県の高校教育全体のデジタル人材育成を推進するため、産官学が連携するぐんまDXコンソーシアムを設置。 ・ DXハイスクール指定校支援 130,000千円 ・ (新規) ぐんま教育DXコンソーシアム 10,000千円
高校教育課		
(一部新規) インクルーシブ教育推進	33,276	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害のある子もない子も同じ場所で共に学ぶための「インクルーシブな学校(モデル校)」において、実践研究を行うとともに、保護者、学校現場、県民等への理解促進を図る。 ①インクルーシブな学校運営研究 13,642千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ モデル校での授業実践研究 ・ (新規) グループ学習を支援する役割を担うコラボレーターを3名配置 ②調査・研究 11,252千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 有識者会議の実施 ・ スウェーデン・マルメ市との交流等 ③理解啓発イベントの開催 8,382千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ インクルーシブ教育の実現に向けて、県庁、総合教育センターや商業施設での理解・啓発イベントを開催
特別支援教育課		
(一部新規) 県立学校医療的ケア支援	92,379	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立学校に学校看護師を配置し、医療的ケアが必要な児童生徒の学習環境を整備する。送迎に係る保護者の負担を軽減するため、通学支援事業を新たに実施。 ・ 看護師配置（18校） 82,299千円 ・ (新規) 医療的ケア児通学支援 10,080千円 看護師が同乗する福祉タクシー等の利用に係る費用の一部を補助
特別支援教育課		

事業名	金額	説明
不登校児童生徒等支援（フリースクール等支援事業）	21,162	<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒等への学習支援や居場所づくりなどの支援を充実し、児童生徒が自ら社会とつながろうとする力を高められるよう、フリースクールに対する事業補助等を実施。 フリースクールへの補助等 19,642千円 <ul style="list-style-type: none"> 補助対象：運営費等 補助率：1/2（上限4,000千円） 専門的人材による支援 1,520千円 <ul style="list-style-type: none"> 経営、施設運営への助言等 ※令和4年度に受け入れた企業版ふるさと納税を不登校児童生徒等支援基金に積み立て、令和5～7年度の3年間で集中実施。
生涯学習課		
（新規） ぐんま昆虫の森赤城型民家の修繕	28,582	<ul style="list-style-type: none"> ぐんま昆虫の森敷地内にある「赤城型民家」（桐生市指定重要文化財）の茅葺き屋根について、修繕を実施。また、多くの人に赤城型民家への愛着を深めてもらうため、広く県民の目にとまるクラウドファンディングを一部活用。 北側屋根修繕費 28,274千円 クラウドファンディング手数料 308千円 ※屋根修繕費見込（東西南北） 63,321千円（R7～10）
生涯学習課		
（新規） ぐんま天文台モニュメント等再生	47,265	<ul style="list-style-type: none"> 映像作品のロケ等による多様な施設活用を促し、施設利用者の増加を目指すため、老朽化が進行しているモニュメント群や、遊歩道等の安全確保及び再生を図るとともに、大型映像システムや案内・解説版の更新等を実施。 モニュメント群再生 23,972千円 遊歩道修繕 4,862千円 大型映像システム更新 13,256千円 案内・解説版の更新等 5,175千円
生涯学習課		
地域部活動改革推進	107,758	<ul style="list-style-type: none"> 学校部活動の地域連携及び地域クラブ活動への移行に向け、県の推進計画を踏まえた市町村における体制構築を支援するとともに、地域移行後の地域指導者の確保及び学校の働き方改革の推進のために部活動指導員を配置。 部活動の地域移行等に向けた実証事業 56,725千円 <ul style="list-style-type: none"> 県コーディネーター経費 7,560千円 市町村コーディネーター、検討委員会開催経費等 28,750千円 プロスポーツ団体委託等 5,215千円 地域クラブ活動体制整備 15,200千円 部活動指導員配置 51,033千円 <ul style="list-style-type: none"> 中学校 185部活 47,903千円 高等学校 8部活（冬季種目等） 3,130千円
健康体育課 義務教育課		
給食食材費の高騰に係る保護者負担軽減（県立特別支援学校）	11,763	<ul style="list-style-type: none"> 給食食材費の高騰に対し、保護者負担の軽減を図るため、R7における食材費高騰の影響額分を給食実施校の私費会計へ補助。
健康体育課		

〈警察本部関係〉

単位:千円

事業名	金額	説明
(新規) A I 映像解析システム等の導入	35,400 債務負担行為 (574,889)	<ul style="list-style-type: none"> ・ A I 技術を用いて防犯カメラ映像を解析するシステムや、高精度な 3 D 画像解析システムを整備するとともに、解析結果等を迅速に共有するためのネットワークを構築。 ・ A I 映像解析システム [債務負担行為: 313,015千円] ・ 3 D 画像解析システム 1,175千円 [債務負担行為: 41,614千円] ・ 解析ネットワーク工事費 31,669千円 ・ 解析ネットワークサーバー等 [債務負担行為: 38,766千円] ・ 解析ネットワーク回線増速 2,556千円
(警) 国際・捜査支援分析課 科学捜査研究所・サイバーセンター 情報管理課		[債務負担行為: 181,494千円]
交通安全施設整備	2,323,480	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通事故を防止し、安全かつ円滑な交通環境を維持するため、交通安全施設を整備。 ・ 信号灯器のLED化及び集中制御のデジタル化を図るとともに、横断歩道の塗替え等、通学路を始めとした交通安全対策を実施。 ・ 信号機の新設 (4基) ・ 信号灯器のLED化 (令和10年度までに完全LED化) ・ 信号制御機・信号柱の老朽更新 ・ 信号機の制御等を行うための集中制御のデジタル化 ・ 横断歩道の塗替えなどの道路標示・標識の更新 ・ 信号機及び道路標識等の撤去 など
(警) 交通規制課		
吾妻警察署新築整備	187,697 債務負担行為 (89,398)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化や狭隘化を解消し、待合スペースや相談スペースの確保、バリアフリー化による来庁者の利便性の向上を図るために、現吾妻警察署を移転新築。 ・ R 7年度は、用地造成工事や基本・実施設計等を実施。
(警) 装備施設課		
(新規) 群馬県警察公式防犯アプリ導入	8,751 債務負担行為 (6,244)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 群馬県警察公式防犯アプリを新たに導入し、県内の犯罪情報や防犯情報をタイムリーに発信することで、県民の安全・安心の確保と防犯意識の向上を図る。 ・ システム構築費 8,490千円 ・ システム使用料 261千円 [債務負担行為: 6,244千円]
(警) 生活安全企画課		

〈企業局関係〉

単位:千円

事業名	金額	説明
ぐんま未来創生基金への繰出(一般会計繰出金)	1,000,000 (電気事業会計)	<ul style="list-style-type: none"> 企業局の利益の一部を一般会計へ繰り出し、「群馬の未来創生」に向けた事業の財源とすることにより、地方創生の取組を積極的に推進。
(企) 経営戦略課		
新規産業団地整備	5,561,520 (団地造成事業会計)	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致の受け皿となる産業団地等を計画的に整備。 <p><継続事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 館林北部第四工業団地 1,372,720千円 伊勢崎南部国領産業団地 518,300千円 沼田横塚産業団地 847,500千円 館林大島工業団地 44,000千円 その他開発調査費 299,000千円 <p><新規事業></p> <ul style="list-style-type: none"> O地区(東毛) 547,000千円 P地区(東毛) 565,000千円 Q地区(西毛) 1,368,000千円
(企) 団地課		
グリーンブロックの分譲促進	21,039 (団地造成事業会計)	<ul style="list-style-type: none"> 板倉ニュータウングリーンブロックについて、令和7年度から分譲を開始するため、住宅事業者への営業や一般顧客への販売促進に取り組む。 太陽光パネル等設置補助 10,000千円 (1,000千円×10棟) モデルハウス設計費補助 3,000千円 (1,000千円×3棟) E Vステーション運用、カーシェアリング 669千円 WEB広告等 7,370千円 <p>※板倉ニュータウングリーンブロック… 板倉ニュータウンに、太陽光発電と水素を活用した電力供給設備による地域マイクログリッドを構築。 再生可能エネルギーの活用で環境にも優しく、災害時の電力確保を備えた次世代の住宅街を新たに分譲するもの。</p>
(企) 団地課		
県営ゴルフ場クラブハウス整備	312,622 債務負担行為 (460,018) (施設管理事業会計)	<ul style="list-style-type: none"> 前橋ゴルフ場クラブハウスについて、令和6年度の基本・実施設計に基づき、大規模リニューアルを実施。 クラブハウス建設工事 290,000千円 仮設クラブハウスリース 18,700千円 工事監理業務委託等 3,922千円
(企) 団地課		
(新規) 渋川工業用水道、東毛工業用水道料金改定	1,838,403 (工業用水道事業会計料金収入)	<ul style="list-style-type: none"> 物価の上昇を踏まえ、料金のうち使用料金を改定。 改定額 現行2円/m³ → 改定後4円/m³ ※基本料金は改定なし(渋川12円/m³、東毛33円/m³) 改定日 令和7年4月1日
(企) 水道課		

〈病院局関係〉

単位:千円

事業名	金額	説明
一般会計から病院事業会計 への繰出	6,091,793	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立病院の運営経費のうち性質上採算性を求めることが困難な経費等について、地方公営企業法に基づき一般会計から繰り出し。 ・ 令和7年度は人件費増、物価高騰への緊急的な対応として、一般会計からの繰出額を増額し、経営の安定化を図る。
(病) 経営戦略課 医 務 課		
小児医療センター再整備 (基本設計業務等)	173,940	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物の老朽化・狭隘化に対応し、小児・周産期医療の充実強化を図るため、建替再整備を行うこととした小児医療センターについて、再整備に向けた基本設計等を実施。
(病) 経営戦略課		